

小諸市水道施設等の指定管理者モニタリングチェックリスト

立会検査日 令和4年5月10日

令和4年4月分

検査者 小諸市水道技術管理者

立会者 (株)水みらい小諸受託

水道業務技術管理者

0)小諸市独自の確認事項

独自の項目	確認事項	具体的な対応	判定	不適の理由等 (メモ)
施設等の維持管理	修繕の発注件数	契約書の確認	適・不適	1件
	修繕の完了件数	しゅん工書類の確認	適・不適	0件
	工事の発注件数	契約書の確認	適・不適	0件
	工事の完了件数	しゅん工書類の確認	適・不適	0件
	保守点検の発注件数	契約書の確認	適・不適	17件
	保守点検の完了件数	しゅん工書類の確認	適・不適	0件
	水源地・配水池等の巡視	巡視簿の確認	適・不適	
管路の維持管理	目視による点検	水管橋・道路上の漏水等	適・不適	
	修繕の発注件数	契約書の確認	適・不適	0件
	修繕の完了件数	しゅん工書類の確認	適・不適	3件
	路面復旧工事の発注件数	契約書の確認	適・不適	0件
	路面復旧工事の完了件数	しゅん工書類の確認	適・不適	0件
水質管理	水質検査(定期)	法定検査	適・不適	
	毎日水質検査	残留塩素	適・不適	
	水質検査(臨時)	法定検査	適・不適	
	クリプトスポリジウム検査		適・不適	
	放射能検査	年3回(6・9・10月)	適・不適	

料金関係				
	料金(現年分)調定	件数:金額、	適・不適	10,921件 80,104,020円
	料金(現年分)収入	件数:金額、	適・不適	191件 4,360,940円
	料金(現年分)未収金	件数:金額、	適・不適	10,756件 7,574,308円
	料金(過年分)調定	件数:金額、	適・不適	0件 -149,760円
	料金(過年分)収入	件数:金額、	適・不適	1,816件 10,667,402円
	料金(過年分)未収金	件数:金額、	適・不適	1,405件 8,558,440円
	手数料等調定	件数:金額、	適・不適	838件 1,484,090円
	手数料等収入	件数:金額、	適・不適	663件 614,260円
	加入金等調定	件数:金額、	適・不適	23件 4,059,000円
	加入金等収入	件数:金額、	適・不適	18件 1,540,000円
	開栓数	件数	適・不適	217件
	閉栓数	件数	適・不適	134件
	収納率(前年対比) %		適・不適	15.13% (-1.79)
	分納者の入金状況	3・6・9・12月末を確認する	適・不適	
	給水停止の対応状況		適・不適	
	未収金の対応状況		適・不適	
給水申請				
	申請書の審査	審査書の確認	適・不適	32件
	申請書の竣工検査	しゅん工書類の確認	適・不適	27件
量水器の管理				
	検満工事の発注件数	契約書の確認	適・不適	0件
	検満工事の完了件数	しゅん工書類の確認	適・不適	0件
夜間・祝祭日の対応				
	漏水、火災、苦情等の対応	件数:(日誌の確認)	適・不適	11件
施設更新・維持補修の提案				
	更新計画の提案	更新の順位及び概算費用	適・不適	
	維持補修計画の提案	修繕の順位及び概算費用	適・不適	
業務の収支				
	業務収支の状況		適・不適	

○前回モニタリング時指摘事項への対応状況

前回モニタリング時指摘事項	改善等対応状況

○モニタリング結果の総括

指摘・助言事項一覧	
・引き続き新型コロナウイルス感染防止対策の徹底をお願いします。	
・業務計画に基づく適切な実行をお願いします。	

次回のモニタリング日： 月 日

小諸市水道施設等の指定管理者モニタリングチェックリスト

1) 第24条水道技術管理者関係

第24条関連項目	確 認 事 項	具 体 的 な 対 応	判 定	不適の理由等 (メモ)
①受託水道業務技術管理者は、適切な役職の者が選任されているか。また資格を満たしているか。	(1)法第24条第3項に掲げる事項に対して適切に選任されているか。	○任命基準については客観的に判断する基準がないが、然るべき者(技術部門の長、若しくはそれに匹敵する者)が任命されているか。	○適・不適	
		○水道技術管理者は水道の技術管理の中心責任者となるものであるから、当該水道の規模、知識、権限を有している者を選任しているか。	○適・不適	
		○任命権者を明らかにする。	○適・不適	
		○任命方法を示す。	○適・不適	
	(2)受託水道業務技術管理者の資格要件を満たしているか。	○施行令第6条に定めた資格を有しているか。	○適・不適	
②受託水道業務技術管理者は、水道の管理についての技術上の業務を適切に担当しているか。	(1)第19条第2項に掲げる事項に関する事務に従事し、及びこれらの従事する他の職員を監督しているか。	○監督の方法が適切であることを規定、手続きに関するマニュアルなどで示しているか。	適・不適	
		○報告書に決裁欄がある等、監督していることが証明できるか。	○適・不適	
		○受託水道業務技術管理者が所属している部署の業務だけでなく、他の部署の業務についても法第19条第2項の事項のすべてについて監督しているか。	○適・不適	
	(2)組織として業務を適正に実施することが可能な業務体制、情報管理体制となっているか。	○水道管理業務受託者の組織に位置付けられ、本人が認識していることはもとより、他の職員に周知されているか。	○適・不適	
		○業務に関する情報が提供され、かつ、その情報に接したことを決裁欄等に証拠として残されているか。	○適・不適	
		○受託水道業務技術管理者の業務を適正に実施可能な業務体制、情報管理体制が備えられているか。	○適・不適	
		○補助者が従事監督している場合は規則・規程等で明確に位置付けられているか。	適・不適	

2) 第5条施設基準

第5条関連項目	確 認 事 項	具 体 的 な 対 応	判 定	不適の理由等 (メモ)
---------	---------	-------------	-----	----------------

①水道施設は施設基準を満たしているか。	(1)水に注入される薬品等により水に付加される物質は「水道施設の技術的基準を定める省令」(平成12年2月23日厚生省令第15号)を満たしているか。	○使用する薬品類は納入時の検査又は、成分表により品質を確認しているか。 ○次亜塩素酸ナトリウムの保管について有効濃度の低下に配慮しているか。	適・不適 適・不適	
②定期的な水道施設の検査が実施されているか。	(1)定期的な水道施設の検査が行われているか。 (2)異常状態が発見された場合は、直ちに詳細な検査を行い、補修・改善等を含む適切な措置がなされているか。 (3)水道施設の機能は適切に維持できているか。	○法定点検や自主点検の項目と必要頻度について合理的に定め実施しているか。 ○保守点検の点検項目、頻度等が定められているか。 ○保守点検の頻度は低くないか。 ○異常が認められた場合には、直ちに詳細な施設検査を実施しているか。 ○施設検査により施設の補修改造が必要なときは、速やかに委託先の小諸市担当者へ報告を行っているか。 ○施設の劣化状況について調査、把握しているか。	適・不適 適・不適 適・不適 適・不適	異常なし
③浄水施設、送配水施設などの運転手引書は整備されているか。	浄水施設、送配水施設などの運転手引書は整備されているか。	○浄水施設、送配水施設をはじめとする水道設備の運転手引書を整備しているか。 ○手引書に基づき訓練を実施しているか。 ○水道用薬品貯蔵設備の誤操作を防止するため作業マニュアルを作成するとともに訓練を行っているか。	適・不適 適・不適 適・不適	
④施設の管理状況の記録は、適切になされているか。	施設管理日誌、作業日誌等の記録はなされているか。	○施設管理日誌、管理記録、作業日誌、設備点検記録等を作成し施設の状況を把握しているか。	適・不適	
⑤施設図、配管図等は適切に整備・保管しているか。	施設図、配管図等は常に更新し、いつでも速やかに利用可能な状態に整理し、保管されているか。	○施設図、配管図等は常に更新を依頼し、いつでも速やかに利用可能な状態に整理し、保管しているか。	適・不適	
⑥漏水防止対策は計画的に実施しているか。	漏水調査計画の立案はしているか。	○漏水調査を実施したか。	適・不適	

3)第13条第1項 給水開始前の水質検査及び施設検査

第13条関連項目	確認事項	具体的な対応	判定	不適の理由等(メモ)
①給水開始検査は適正に実施されているか。	(1)給水開始前検査は、「水質基準に関する省令」及び「水質基準に関する省令の規定に基づき厚生労働	○水質検査は、全項目および消毒の残留効果について実施し、供給される水が法第4条の水質基準に適合していることを確認しているか。	適・不適	

大臣が定める方法」並びに「水道施設の技術的基準を定める省令」に沿って適切に実施されている。	○検査方法は省令に定める方法で行っているか。	○適・不適	
	○当該新設、増設又は改造に係る施設を得た水道水の末端で採水しているか。	○適・不適	
	○施設検査は、浄水及び消毒の能力、流量、圧力、耐力、汚染並びに漏水のうち、施設の新設、増設又は改造による影響のある事項について、施設の新設、増設又は改造に係る施設及び該当影響に関係があると認められる水道施設(給水装置を含む。)について行っているか。	○適・不適	
(2)給水開始前検査の水質試験については、給水管の末端等で行われているか。また必要に応じて、水源、配水池、浄水池等における水質についても検査を行っているか。	○水質検査及び消毒の残留効果の検査の採水場所が、水質基準に適合するかどうかを判断することが出来る場所となっているか。	○適・不適	
(3)検査結果は基準を満たすものであったか。満たしていない場合は適切な処置がなされているか。	○検査結果は基準を満たしていたか。	○適・不適	
	○検査結果が基準を満たさなかった場合、その原因を調査し、基準を満足するように必要な措置を講じているか。	適・不適	
(4)水質検査及び施設検査の記録を作成し、検査を行った日から5年間保存されているか。	○水質検査及び施設検査を行ったときは、その記録を作成し、検査を行った日から5年間保存しているか。	○適・不適	
(5)給水前検査の実施に関し検査内容(水圧試験、水質試験等を含む。)を明定する等検査に関する規則が整備されているか。	○施設の新設、増設又は改造後に行う給水開始前の水圧、構造、資機材等の施設検査及び水質検査の手順を文書化しているか。	適・不適	
(6)配水施設(配水池を除く。)及び給水装置の新設、増設、改造の場合においても、給水開始前検査に準じて必要な検査を行っているか。	○排水施設(配水池を除く。)及び給水装置についても給水開始前検査に準じて検査を行っているか。 配管状況、管理設深、残留塩素、水圧、異物は無いか、水圧試験	○適・不適	

4)第16条 給水装置の構造及び材質の検査

第16条関連項目	確認事項	具体的な対応	判定	不適の理由等(メモ)
①給水装置の構造及び材質が政令、省令に定める基準に適合していることを受託水道業務技術管理者の業務として確認する。	給水装置の確認の手順を文書化することが必要である。	○給水装置の確認の手順を文書化しているか。	○適・不適	

5)第20条第1項 水質検査

第20条関連項目	確 認 事 項	具 体 的 な 対 応	判 定	不適の理由等 (メモ)
①定期の水質検査は法定の回数行っているか。また、検査項目は適正か。	(1)毎日の水質検査は毎日実施されているか。また、検査項目は適切か。	○土日祝祭日にも行っているか。	○適・不適	
		○消毒の残留効果に関する検査だけではなく、色及び濁りの検査を行っているか。	○適・不適	
	(2)基準項目の水質検査の回数は法定の回数以上実施されているか。また、検査項目は適切か。	○検査項目別に規定されている回数(毎月1回以上、3月に1回以上)の検査を行っているか。(検査回数の減を除く)	○適・不適	
		○基準項目の検査は、基準の表のすべて項目について検査を行っているか。(検査の省力を除く)	○適・不適	
		○これらの試験結果は、速やかに受託水道業務技術管理者まで報告がなされているか。	○適・不適	
		○結果に変動が生じた場合には、原因調査を行い必要な対応策を講じる体制を整備しているか。	○適・不適	
	(3)検査回数を減らしている検査項目がある場合、減じることが出来る要件を満たしているか。またその検査頻度は適切か。	○水源地域の汚染源調査を実施し、原水水質の変化を予測しているか。	適・不適	
		○検査回数を減らしている検査項目がある場合は、その要件を毎年整理し、省略できることを確認しているか。	○適・不適	
	(4)検査項目の省略を行っている場合、省略できる要件を満たしているか。また、省略を行った場合であっても、概ね3年に1回は省略項目についても水質試験を行っているか。	○検査項目の省略を行っている場合は、その要件を毎年整理し、省略できることを確認しているか。	○適・不適	
		○水質検査、給水栓を原則とし、水道施設の構造等を考慮して、当該水道により供給される水が水質基準に適合するかどうかを判断することが出来る場所から採水した水について行っているか。	○適・不適	

②配水池点は適正か。	(1)採水場所は、給水栓を原則とし、当該水道により供給される水が水質基準に適合するかどうかを判断することができる場所を選定しているか。また、特定の検査項目について、浄水施設の出口等を採水場所としている場合には、適切に選定されているか。	○浄水場出口だけではなく、配水管の末端等の水が停滞しやすい場所で行っているか。(ただし、濃度変化がないことが明らかな項目は可)	適・不適	
		○ループ管であっても水が停滞しやすい場所から採水しているか。	適・不適	
		○採水は毎回同じ場所で行い、ローテーションなどで行っていないか。	適・不適	
		○「水質基準に適合しているか判断できる場所」として、給水栓のほか配水管の末端等の水の停滞しやすい場所を含んで	適・不適	
		○水道施設の規模等を考慮し、必要な数の採水場所を選定しているか。	適・不適	
	(2)採水か所数は、水源の種別、浄水施設及び配水施設ごとに合理的な数となっているか。また、配水系統ごとに選定しているか。	○水道の規模、水源の種別、浄水施設及び排水施設構造等を考慮して、合理的に供給される水が水質基準に適合するかどうかを判断することが出来る場所を選定しているか。	適・不適	
		○ループ管であっても合理的な数を選定しているか。	適・不適	
		○水源系統が異なる場合には、系統毎に選定しているか。	適・不適	
③水質管理目標設定項目について水質検査を行っているか。	水質管理目標設定項目について、水源の種別や使用する機材、薬品の観点から着目して項目を設定し、水質検査を実施しているか。また、検査結果を公表しているか。	○水質基準に係る検査に準じた検査等の実施に努めているか。	適・不適	
④水質検査の委託先の選定方法は適切か。	水質検査を適切な機関に委託しているか。	○地方公共団体の機関又は厚生労働大臣の登録を受けた者か。	適・不適	
⑤水質検査結果は水質基準を満たしているか。	(1)水質検査結果は水質基準(水質基準に関する省令)を満たしているか。	○水質検査の結果がでた時点で、直ちに水質基準を満たしているかを確認しているか。また、小諸市に報告しているか。	適・不適	
	(2)水質基準を超えた値が検出された場合は、直ちに原因究明を行い必要な措置を講じているか。	○水質基準を超える値が検出された場合、直ちに原因究明を行う等必要な措置をとる必要が ○受託水道業務技術管理者へ報告される体制を整備しているか。	適・不適 適・不適	

	(3)異常が認められた場合に、確認のため直ちに再検査を行っているか。	異常が認められた場合に、確認のため直ちに再検査を行っているか。また、小諸市に報告しているか。	適・不適	異常なし
⑥原水の水質検査は適正に実施しているか。	(1)すべての水源の原水について、水質がもっとも悪化していると考えられる時期を含んで少なくとも毎年1回は定期的に全項目検査(消毒副生成物を除く。)を実施しているか。	○もっとも水質が悪化していると考えられる時期の原水水質の検査を行っているか。	適・不適	
	(2)必要に応じて水質管理目標設定項目等についても検査を実施しているか。	○水質管理目標設定項目について水質基準に係る検査に準じた検査等の実施しているか。	○適・不適	
⑦水質検査計画は策定されているか。	(1)毎事業年度の開始前に水質検査計画を策定しているか。	○毎事業年度の開始前に水質検査計画を策定しているか。	○適・不適	
	(2)策定されている場合、その内容は適切か。	○策定されている場合、その内容は適切か。	○適・不適	
	(3)水質管理目標設定項目及び原水に係る水質検査項目のうち、必要な項目が水質検査計画に位置付けられているか。	○水質検査対象とした又はしない根拠を項目毎に整理しているか。	○適・不適	
⑧過去5年間の水質検査記録が保存されているか。	(1)水質検査の記録を適正に作成しているか。	○毎日検査の結果については異常がない場合にも、その旨を明記しているか。	○適・不適	
	(2)過去5年間の水質検査に関する記録は保存されているか。	○定期及び臨時の水質検査を行ったとき、これに関する記録を作成し、水質検査を行った日から起算して5年間、これを保存しているか。	○適・不適	
⑨原水のクリプトスポリジウム等(クリプトスポリジウム及びジアルジア)による汚染のおそれの判断をしているか。	指標菌の検出レベル等からリスクレベルの判断を行っているか。	○指標菌である大腸菌及び嫌気性芽胞菌の検査を行わなければならない。いずれかが検出された場合、耐塩素性病原生物が混入するおそれがあると判断しているか。	○適・不適	
		○深井戸であっても構造によっては原水から指標菌が検出されることがあるので注意をしているか。	○適・不適	
⑩クリプトスポリジウム等による汚染のおそれの程度に応じた予防対策がされているか。	原水等の検査を適切に行っているか。	○クリプトスポリジウム等の汚染のおそれの程度に応じてクリプトスポリジウム等及び指標菌検査を行っているか。	○適・不適	
		○レベル4及びレベル3の施設の設備期間中の施設では、原水のクリプトスポリジウム等を3ヶ月に1回以上、指標菌検査を月1回以上行っているか。	○適・不適	

6) 第21条第1項 健康診断

第21条関連項目	確 認 事 項	具 体 的 な 対 応	判 定	不適の理由等 (メモ)
① 定期の健康診断の実施状況は適切か。	(1) 定期健康診断は、おおむね6箇月ごとに、病原体がし尿に排泄せつされる感染症の患者(病原体の保菌者を含む。)の有無に関して実施されているか。	○定期健康診断は、おおむね6箇月ごとに実施しているか。 4月・10月	○適・不適	
	(2) 健康診断の実施項目は適切か。	○病原体検索は、赤痢菌、腸チフス菌、パラチフス菌を対象としているか。	○適・不適	
		○コレラ菌、赤痢アメーバ、サルモネラ等について行ったことがあるか。	○適・不適	
		○急性灰髄炎(小児麻痺)、流行性肝炎、泉熱、感染性下痢症及び各種下痢腸炎について行ったことはあるか。	適・不適	
		○病原体検索は、主として便について行い、必要に応じて尿、血液、その他について行っているか。	○適・不適	
		○サルモネラ属菌検査においては、一般に腸チフス菌、パラチフス菌検査が含まれている場合があるので、検査項目について確認しているか。	○適・不適	
	(3) 健康診断の受診者は適切か。	○水道の取水場、浄水場又は配水池において業務に従事している者及びこれらの施設の設置場所の構内に居住している者全員を対象に健康診断を実施しているか。	○適・不適	
		○健康診断実施日に休んでいた者については、後日実施しているか。	適・不適	該当者なし
② 臨時の健康診断は適切に実施されているか。	臨時の健康診断が必要となるような状態は生じていないか。生じていると認められている場合には、健康診断を行っているか。	○健康診断対象者が赤痢菌、腸チフス菌、パラチフス菌等の患者又は保菌者となった場合と施設の地域において赤痢等の伝染病(感染症)が発生する等により健康診断対象者に罹患するおそれがある場合に行っているか。	適・不適	
③ 過去1年間の健康診断記録が保存されているか。	過去1年間の健康診断に関する記録は保存されているか。	○診断年月日、診断を受けた者の氏名、性別、年齢、診断結果、診断医師名、検便成績、同検査場所が示されているか。	○適・不適	
		○他の法令に基づいて行われた健康診断の実績項目が同一の場合はその内容をもって健康診断が実施されたものと見	適・不適	

7) 第22条第1項 衛生上の措置

第22条関連項目	確 認 事 項	具 体 的 な 対 応	判 定	不適の理由等 (メモ)
①水道施設についての汚染防止はなされているのか。また、防護柵、施錠、立入禁止表示等の設置がなされているのか。	(1)取水場、貯水場、導水きよ、浄水場、配水池及びポンプせいは、常に清潔にし、水の汚染防止が充分になされているか。	○年間計画に基づきこれらの施設の清掃、点検巡視を行うとともに、結果について整理しているか。	○適・不適	
	(2)上記の施設には、カギを掛け、柵を設ける等みだりに人畜が施設に立ち入って水が汚染されるのを防止するのに必要な措置が講じられているか。	○施設にさく、門扉、施錠等を設け、人畜が施設に立ち入ることを防止しているか。	○適・不適	
		○汚染防止を喚起するため、必要な標札、立て札、掲示等を設置しているか。	○適・不適	
②給水栓における遊離残留塩素濃度は、基準値以下とにならないよう管理されているか。	(1)給水栓における水が、遊離残留濃度0.1mg/L(結合残留塩素の場合は0.4mg/L)以上保持するよう適切に塩素消毒が行われているか。	○給水栓における残留塩素濃度の管理目標値を設定し、その確認手順を定めているか。	○適・不適	
		○遊離残留塩素の値が高く、消毒副生成物が検出されていることはないか確認しているか。	○適・不適	
		○現状では管末で遊離残留塩素濃度0.1mg/Lを保持している場合でも、将来下回ることがないことを確認しているか。	適・不適	
		○地理的に残留塩素濃度の保持が難しいところについては、塩素の追加設備の設置や配管経路の変更等の対策を検討しているか。	適・不適	
③消毒が連続的に適正な場所で行われているか。	(2)供給する水が病原生物に著しく汚染されるおそれがある場合又は病原生物に汚染されたことを疑わせるような生物若しくは物質を多量に含むおそれがある場合には、給水栓における水の遊離残留塩素濃度0.2mg/L(結合残留塩素の場合は1.5mg/L)以上を保持するように適切に塩素消毒が行われているか。	○供給する水が病原生物に著しく汚染されるおそれがある場合又は病原生物に汚染されたことを疑わせるような生物若しくは物質を多量に含む恐れがあるような場合の塩素注入量を増加させる手続きを定めているか。	○適・不適	
	(1)消毒が中断しないように確認を行っているか。また、消毒設備は消毒が中断しないように常に整備しているか。予備の設備はあるか。	○消毒が中断しないことを確認しているか。	○適・不適	
		○消毒設備の点検整備状況について整理しているか。	適・不適	
	(2)消毒剤の注入は、量水せい又は配水池等において、消毒剤が十分水に混合するように行われているか。	○消毒剤が十分水に混合するために必要な措置を講じているか。	○適・不適	

8) 第23条第1項 給水の緊急停止

第23条関連項目	確 認 事 項	具 体 的 な 対 応	判 定	不適の理由等 (メモ)
①危機管理マニュアル類の整備はされているか。	危機管理マニュアル(水質事故対策、テロ対策、震災対策、停電時対策等)は設備されているか。	○想定される事故・災害時に万全の対応が出来るように、マニュアルを整備しているか。 ○訓練を定期的に行うとともに更新に努めているか。	適・不適 適・不適	
②連絡体制の整備状況は万全か。	水質事故、地震災害時等緊急時における当該事業者内関係水道事業者及び関係行政機関への連絡・対応体制は整えられているか。また、直ちに適切な対策が講じられるよう平時より関係者に周知しているか。	○緊急時における連絡・通報・対応などの体制を整備し、マニュアル化し、関係者に周知徹底しているか。 ○連絡先、対応窓口、記録の整理等についてマニュアル化して漏れのない体制を整えているか。 ○関係機関への連絡先が緊急時のマニュアルに明記しているか。	適・不適 適・不適 適・不適	
③給水停止等の指揮命令系統は明確であるか。	(1)給水の緊急停止措置の指揮命令系統は、明確になっているか。	○実施時に混乱を来たさないよう指揮命令系統を明確にしているか。 ○受託水道業務技術管理者が指揮命令系統に位置付けられ適切に関与できる体制となっているか。	適・不適 適・不適	
	(2)給水の緊急停止を行った場合、関係者に周知させる措置が講じられていた。(過去5年以内で緊急停止の実績はあるか。またその理由は何か。	○関係者に周知徹底しているか。 ○緊急停止を行った場合は、原因、経過、影響などについて整理し保存しているか。	適・不適 適・不適	
④応急復旧体制、応急給水体制は確立されているか	応急復旧体制、応急給水体制は確立されているか	○応急復旧に関する事項として、被害想定を行い、手順・方法に関する要領、組織、資機材の備蓄と確保及び建設業者との協力体制等を整備しているか。 ○応急給水に関する事項として、必要水量、給水拠点の想定を行い、手順・方法に関する要領、組織、資機材の確保、応援給水の受け入れ及び衛生管理体制等を整備しているか。	適・不適 適・不適	
⑥危機管理を想定した訓練等に努めているか。	水道の緊急停止措置等緊急事態を想定した、指揮命令伝達などを含んだ訓練等を行っているか。	○水道の緊急停止等の措置を想定した指揮命令伝達などの訓練を行っているか。	適・不適	
⑦危機管理対策として住民への対策を適切に講じることができる体制が整備されているか。	非常時における住民への対策を適切に講じることができる体制が整備されているか。(給水ポイントの選定、広報活動のあり方など)	○訓練時に住民の参加を求め、要望などを取り入れているか。	適・不適	

⑧テロ等危機管理対策として水源監視及び水道施設の警備強化を行っているか。	施設内への来訪者、施設出入り業者の管理を行っているか。	○水道施設の警備を強化するため巡回点検計画を作成しているか。	適・不適	
		○ろ過池等が外部から容易に毒物が投入可能な配置・構造となっている場合、防止策等を検討しているか。	適・不適	
⑨施設内への来訪者の管理を行っているか。	施設内への来訪者、施設出入り業者の管理を行っているか。	○来訪名簿の整備、訪問目的、訪問先の確認、受付用テレビカメラの設置等を行っているか。	○適・不適	
⑩停電時に配慮した水道施設の整備等がなされているか。	停電時に配慮した水道施設と施設運用体制の整備がなされているか。	○停電による影響と必要な対策を検討し、マニュアル化しているか。	○適・不適	
⑪漏水事故等に備え、資機材の確保は万全か。	漏水事故等に備え、資機材の備蓄、調達はされているか。	○漏水事故等の対応マニュアルを整備しているか。	○適・不適	
		○資機材を備蓄しているか。	○適・不適	
⑫新型インフルエンザ対策に係る取り組みが進められているか。	水道管理業務受託者の状況に応じた適切な新型インフルエンザ対策が実施されているか。	○水道管理業務受託者の状況に応じた適切な新型インフルエンザ対策がされているか。	○適・不適	
		○流行時においても安全確保を前提として水道水を安定的に供給していくための対策がされているか。	適・不適	
⑬情報セキュリティ対策に係る取り組みが進められているか。	水道管理業務受託者の状況に応じた適切な情報セキュリティ対策が実施されているか。	○水道管理業務受託者の状況に応じた適切な情報セキュリティ対策が実施されているか。	○適・不適	
		○サイバー攻撃や情報システム障害等により安全な水の安定供給に支障をきたさないための対策が実施されているか。	○適・不適	

9)その他の事項

その他の事項	確認事項	具体的な対応	判定	不適の理由等(メモ)
①水道事業の運営に必要な技術レベルを維持するための研修、講習等を行っている。	(1)職員の技術向上と資格要件を満たす技術者を養育するための研修、講習等を実施、又は参加しているか。	○技術系職員の年齢構成について整理しているか。	○適・不適	
		○年間の内部、外部を含めた研修計画を取りまとめているか。	○適・不適	
	(2)水道事業の運営に必要な技術レベルを維持するための取り組みを行っているか。	○技術系職員を確保する計画をまとめているか。	○適・不適	
		○技術の継承するための計画をまとめているか。	○適・不適	
②水道事業ガイドラインに規定されている業務指標(PI)を活用した取り組みを行っているか。		○業務指標(PI)を算出しているか。	適・不適	
		○OPIについて経年変化を求めているか。	適・不適	

小諸市水道施設等の指定管理者モニタリングチェックリスト

立会検査日 令和4年6月10日

令和 4 年5月分

検査者 小諸市水道技術管理者
立会者 ㈱水みらい小諸受託
水道業務技術管理者

0)小諸市独自の確認事項

独自の項目	確 認 事 項	具 体 的 な 対 応	判 定	不適の理由等 (メモ)
施設等の維持 管理	修繕の発注件数	契約書の確認	○適・不適	2件
	修繕の完了件数	しゅん工書類の確認	○適・不適	1件
	工事の発注件数	契約書の確認	適・不適	0件
	工事の完了件数	しゅん工書類の確認	適・不適	0件
	保守点検の発注件数	契約書の確認	適・不適	0件
	保守点検の完了件数	しゅん工書類の確認	適・不適	0件
	水源地・配水池等の巡視	巡視簿の確認	○適・不適	
管路の維持管 理	目視による点検	水管橋・道路上の漏水等	○適・不適	
	修繕の発注件数	契約書の確認	適・不適	0件
	修繕の完了件数	しゅん工書類の確認	○適・不適	8件
	路面復旧工事の発注件数	契約書の確認	適・不適	0件
	路面復旧工事の完了件数	しゅん工書類の確認	適・不適	0件
水質管理	水質検査(定期)	法定検査	○適・不適	
	毎日水質検査	残留塩素	○適・不適	
	水質検査(臨時)	法定検査	適・不適	
	クリプトスポリジウム検査		適・不適	
	放射能検査	年1回(10月)	適・不適	

料金関係				
	料金(現年分)調定	件数:金額、	適・不適	9,404件 67,843,900円
	料金(現年分)収入	件数:金額、	適・不適	10,900件 81,540,252円
	料金(現年分)未収金	件数:金額、	適・不適	9,299件 62,046,728円
	料金(過年分)調定	件数:金額、	適・不適	0件 -210,260円
	料金(過年分)収入	件数:金額、	適・不適	589件 2,604,380円
	料金(過年分)未収金	件数:金額、	適・不適	911件 5,743,800円
	手数料等調定	件数:金額、	適・不適	758件 947,800円
	手数料等収入	件数:金額、	適・不適	850件 1,568,030円
	加入金等調定	件数:金額、	適・不適	46件 6,237,000円
	加入金等収入	件数:金額、	適・不適	20件 4,521,000円
	開栓数	件数	適・不適	186件
	閉栓数	件数	適・不適	153件
	収納率(前年対比) %		適・不適	59.40% (+1.8)
	分納者の入金状況	3・6・9・12月末を確認する	適・不適	
	給水停止の対応状況		適・不適	
	未収金の対応状況		適・不適	
給水申請				
	申請書の審査	審査書の確認	適・不適	33件
	申請書の竣工検査	しゅん工書類の確認	適・不適	24件
量水器の管理				
	検満工事の発注件数	契約書の確認	適・不適	0件
	検満工事の完了件数	しゅん工書類の確認	適・不適	0件
夜間・祝祭日の対応				
	漏水、火災、苦情等の対応	件数:(日誌の確認)	適・不適	17件
施設更新・維持補修の提案				
	更新計画の提案	更新の順位及び概算費用	適・不適	
	維持補修計画の提案	修繕の順位及び概算費用	適・不適	
業務の収支				
	業務収支の状況		適・不適	

○前回モニタリング時指摘事項への対応状況

前回モニタリング時指摘事項	改善等対応状況

○モニタリング結果の総括

指摘・助言事項一覧	
・引き続き新型コロナウイルス感染防止対策の徹底をお願いします。	
・業務計画に基づく適切な実行をお願いします。	

次回のモニタリング日： 月 日

小諸市水道施設等の指定管理者モニタリングチェックリスト

1) 第24条水道技術管理者関係

第24条関連項目	確 認 事 項	具 体 的 な 対 応	判 定	不適の理由等 (メモ)
①受託水道業務技術管理者は、適切な役職の者が選任されているか。また資格を満たしているか。	(1)法第24条第3項に掲げる事項に対して適切に選任されているか。	○任命基準については客観的に判断する基準がないが、然るべき者(技術部門の長、若しくはそれに匹敵する者)が任命されているか。	適・不適	
		○水道技術管理者は水道の技術管理の中心責任者となるものであるから、当該水道の規模、知識、権限を有している者を選任しているか。	適・不適	
		○任命権者を明らかにする。	適・不適	
		○任命方法を示す。	適・不適	
	(2)受託水道業務技術管理者の資格要件を満たしているか。	○施行令第6条に定めた資格を有しているか。	適・不適	
②受託水道業務技術管理者は、水道の管理についての技術上の業務を適切に担当しているか。	(1)第19条第2項に掲げる事項に関する事務に従事し、及びこれらの従事する他の職員を監督しているか。	○監督の方法が適切であることを規定、手続きに関するマニュアルなどで示しているか。	適・不適	
		○報告書に決裁欄がある等、監督していることが証明できるか。	適・不適	
		○受託水道業務技術管理者が所属している部署の業務だけでなく、他の部署の業務についても法第19条第2項の事項のすべてについて監督しているか。	適・不適	
	(2)組織として業務を適正に実施することが可能な業務体制、情報管理体制となっているか。	○水道管理業務受託者の組織に位置付けられ、本人が認識していることはもとより、他の職員に周知されているか。	適・不適	
		○業務に関する情報が提供され、かつ、その情報に接したことを決裁欄等に証拠として残されているか。	適・不適	
		○受託水道業務技術管理者の業務を適正に実施可能な業務体制、情報管理体制が備えられているか。	適・不適	
		○補助者が従事監督している場合は規則・規程等で明確に位置付けられているか。	適・不適	

2) 第5条施設基準

第5条関連項目	確 認 事 項	具 体 的 な 対 応	判 定	不適の理由等 (メモ)
---------	---------	-------------	-----	----------------

①水道施設は施設基準を満たしているか。	(1)水に注入される薬品等により水に付加される物質は「水道施設の技術的基準を定める省令」(平成12年2月23日厚生省令第15号)を満たしているか。	○使用する薬品類は納入時の検査又は、成分表により品質を確認しているか。 ○次亜塩素酸ナトリウムの保管について有効濃度の低下に配慮しているか。	適・不適	
②定期的な水道施設の検査が実施されているか。	(1)定期的な水道施設の検査が行われているか。 (2)異常状態が発見された場合は、直ちに詳細な検査を行い、補修・改善等を含む適切な措置がなされているか。 (3)水道施設の機能は適切に維持できているか。	○法定点検や自主点検の項目と必要頻度について合理的に定め実施しているか。 ○保守点検の点検項目、頻度等が定められているか。 ○保守点検の頻度は低くないか。 ○異常が認められた場合には、直ちに詳細な施設検査を実施しているか。 ○施設検査により施設の補修改造が必要なときは、速やかに委託先の小諸市担当者へ報告を行っているか。 ○施設の劣化状況について調査、把握しているか。	適・不適 適・不適 適・不適 適・不適 適・不適	
③浄水施設、送配水施設などの運転手引書は整備されているか。	浄水施設、送配水施設などの運転手引書は整備されているか。	○浄水施設、送配水施設をはじめとする水道設備の運転手引書を整備しているか。 ○手引書に基づき訓練を実施しているか。 ○水道用薬品貯蔵設備の誤操作を防止するため作業マニュアルを作成するとともに訓練を行っているか。	適・不適 適・不適 適・不適	
④施設の管理状況の記録は、適切になされているか。	施設管理日誌、作業日誌等の記録はなされているか。	○施設管理日誌、管理記録、作業日誌、設備点検記録等を作成し施設の状況を把握しているか。	適・不適	
⑤施設図、配管図は適切に整備・保管しているか。	施設図、配管図等は常に更新し、いつでも速やかに利用可能な状態に整理し、保管されているか。	○施設図、配管図等は常に更新を依頼し、いつでも速やかに利用可能な状態に整理し、保管しているか。	適・不適	
⑥漏水防止対策は計画的に実施しているか。	漏水調査計画の立案はしているか。	○漏水調査を実施したか。	適・不適	

3) 第13条第1項 給水開始前の水質検査及び施設検査

第13条関連項目	確認事項	具体的な対応	判定	不適の理由等(メモ)
①給水開始検査は適正に実施されているか。	(1)給水開始前検査は、「水質基準に関する省令」及び「水質基準に関する省令の規定に基づき厚生労働	○水質検査は、全項目および消毒の残留効果について実施し、供給される水が法第4条の水質基準に適合していることを確認しているか。	○適 不適	

大臣が定める方法」並びに「水道施設の技術的基準を定める省令」に沿って適切に実施されている。	○検査方法は省令に定める方法で行っているか。	適・不適	
	○当該新設、増設又は改造に係る施設を得た水道水の末端で採水しているか。	適・不適	
	○施設検査は、浄水及び消毒の能力、流量、圧力、耐力、汚染並びに漏水のうち、施設の新設、増設又は改造による影響のある事項について、施設の新設、増設又は改造に係る施設及び該当影響に関係があると認められる水道施設(給水装置を含む。)について行っているか。	適・不適	
(2)給水開始前検査の水質試験については、給水管の末端等で行われているか。また必要に応じて、水源、配水池、浄水池等における水質についても検査を行っているか。	○水質検査及び消毒の残留効果の検査の採水場所が、水質基準に適合するかどうかを判断することが出来る場所となっているか。	適・不適	
(3)検査結果は基準を満たすものであったか。満たしていない場合は適切な処置がなされているか。	○検査結果は基準を満たしていたか。	適・不適	
	○検査結果が基準を満たさなかった場合、その原因を調査し、基準を満足するように必要な措置を講じているか。	適・不適	
(4)水質検査及び施設検査の記録を作成し、検査を行った日から5年間保存されているか。	○水質検査及び施設検査を行ったときは、その記録を作成し、検査を行った日から5年間保存しているか。	適・不適	
(5)給水前検査の実施に関し検査内容(水圧試験、水質試験等を含む。)を明定する等検査に関する規則が整備されているか。	○施設の新設、増設又は改造後に行う給水開始前の水圧、構造、資機材等の施設検査及び水質検査の手順を文書化しているか。	適・不適	
(6)配水施設(配水池を除く。)及び給水装置の新設、増設、改造の場合においても、給水開始前検査に準じて必要な検査を行っているか。	○排水施設(配水池を除く。)及び給水装置についても給水開始前検査に準じて検査を行っているか。 配管状況、管埋設深、残留塩素、水圧、異物は無いか、水圧試験	適・不適	

4)第16条 給水装置の構造及び材質の検査

第16条関連項目	確認事項	具体的な対応	判定	不適の理由等(メモ)
①給水装置の構造及び材質が政令、省令に定める基準に適合していることを受託水道業務技術管理者の業務として確認する。	給水装置の確認の手順を文書化することが必要である。	○給水装置の確認の手順を文書化しているか。	適・不適	

5)第20条第1項 水質検査

第20条関連項目	確 認 事 項	具 体 的 な 対 応	判 定	不適の理由等 (メモ)
①定期の水質検査は法定の回数行っているか。また、検査項目は適正か。	(1)毎日の水質検査は毎日実施されているか。また、検査項目は適切か。	○土日祝祭日にも行っているか。	適・不適	
		○消毒の残留効果に関する検査だけではなく、色及び濁りの検査を行っているか。	適・不適	
	(2)基準項目の水質検査の回数は法定の回数以上実施されているか。また、検査項目は適切か。	○検査項目別に規定されている回数(毎月1回以上、3月に1回以上)の検査を行っているか。(検査回数の減を除く)	適・不適	
		○基準項目の検査は、基準の表のすべて項目について検査を行っているか。(検査の省力を除く)	適・不適	
		○これらの試験結果は、速やかに受託水道業務技術管理者まで報告がなされているか。	適・不適	
		○結果に変動が生じた場合には、原因調査を行い必要な対応策を講じる体制を整備しているか。	適・不適	
	(3)検査回数を減らしている検査項目がある場合、減じることが出来る要件を満たしているか。またその検査頻度は適切か。	○水源地域の汚染源調査を実施し、原水水質の変化を予測しているか。	適・不適	
		○検査回数を減らしている検査項目がある場合は、その要件を毎年整理し、省略できることを確認しているか。	適・不適	
	(4)検査項目の省略を行っている場合、省略できる要件を満たしているか。また、省略を行った場合であっても、概ね3年に1回は省略項目についても水質試験を行っているか。	○検査項目の省略を行っている場合は、その要件を毎年整理し、省略できることを確認しているか。	適・不適	
		○水質検査、給水栓を原則とし、水道施設の構造等を考慮して、当該水道により供給される水が水質基準に適合するかどうかを判断することが出来る場所から採水した水について行っているか。	適・不適	

②配水池点は適正か。	(1)採水場所は、給水栓を原則とし、当該水道により供給される水が水質基準に適合するかどうかを判断することができる場所を選定しているか。また、特定の検査項目について、浄水施設の出口等を採水場所としている場合には、適切に選定されているか。	○浄水場出口だけではなく、配水管の末端等の水が停滞しやすい場所で行っているか。(ただし、濃度変化がないことが明らかな項目は可)	適・不適	
		○ループ管であっても水が停滞しやすい場所から採水しているか。	適・不適	
		○採水は毎回同じ場所で行い、ローテーションなどで行っていないか。	適・不適	
		○「水質基準に適合しているか判断できる場所」として、給水栓のほか配水管の末端等の水の停滞しやすい場所を含んでいるか。	適・不適	
		○水道施設の規模等を考慮し、必要な数の採水場所を選定しているか。	適・不適	
	(2)採水か所数は、水源の種別、浄水施設及び配水施設ごとに合理的な数となっているか。また、配水系統ごとに選定しているか。	○水道の規模、水源の種別、浄水施設及び排水施設構造等を考慮して、合理的に供給される水が水質基準に適合するかどうかを判断することが出来る場所を選定しているか。	適・不適	
		○ループ管であっても合理的な数を選定しているか。	適・不適	
		○水源系統が異なる場合には、系統毎に選定しているか。	適・不適	
③水質管理目標設定項目について水質検査を行っているか。	水質管理目標設定項目について、水源の種別や使用する機材、薬品の観点から着目して項目を設定し、水質検査を実施しているか。また、検査結果を公表しているか。	○水質基準に係る検査に準じた検査等の実施に努めているか。	適・不適	
④水質検査の委託先の選定方法は適切か。	水質検査を適切な機関に委託しているか。	○地方公共団体の機関又は厚生労働大臣の登録を受けた者か。	適・不適	
⑤水質検査結果は水質基準を満たしているか。	(1)水質検査結果は水質基準(水質基準に関する省令)を満たしているか。	○水質検査の結果がでた時点で、直ちに水質基準を満たしているかを確認しているか。また、小諸市に報告しているか。	適・不適	
	(2)水質基準を超えた値が検出された場合は、直ちに原因究明を行い必要な措置を講じているか。	○水質基準を超える値が検出された場合、直ちに原因究明を行う等必要な措置をとる必要がある。 ○受託水道業務技術管理者へ報告される体制を整備しているか。	適・不適 適・不適	異常なし

	(3)異常が認められた場合に、確認のため直ちに再検査を行っているか。	異常が認められた場合に、確認のため直ちに再検査を行っているか。また、小諸市に報告しているか。	適・不適	異常なし
⑥原水の水質検査は適正に実施しているか。	(1)すべての水源の原水について、水質がもっとも悪化していると考えられる時期を含んで少なくとも毎年1回は定期的に全項目検査(消毒副生成物を除く。)を実施しているか。	○もっとも水質が悪化していると考えられる時期の原水水質の検査を行っているか。	適・不適	
	(2)必要に応じて水質管理目標設定項目等についても検査を実施しているか。	○水質管理目標設定項目について水質基準に係る検査に準じた検査等の実施しているか。	○適・不適	
⑦水質検査計画は策定されているか。	(1)毎事業年度の開始前に水質検査計画を策定しているか。	○毎事業年度の開始前に水質検査計画を策定しているか。	適・不適	
	(2)策定されている場合、その内容は適切か。	○策定されている場合、その内容は適切か。	適・不適	
	(3)水質管理目標設定項目及び原水に係る水質検査項目のうち、必要な項目が水質検査計画に位置付けられているか。	○水質検査対象とした又はしない根拠を項目毎に整理しているか。	適・不適	
⑧過去5年間の水質検査記録が保存されているか。	(1)水質検査の記録を適正に作成しているか。	○毎日検査の結果については異常がない場合にも、その旨を明記しているか。	○適・不適	
	(2)過去5年間の水質検査に関する記録は保存されているか。	○定期及び臨時の水質検査を行ったとき、これに関する記録を作成し、水質検査を行った日から起算して5年間、これを保存しているか。	適・不適	
⑨原水のクリプトスポリジウム等(クリプトスポリジウム及びジアルジア)による汚染のおそれの判断をしているか。	指標菌の検出レベル等からリスクレベルの判断を行っているか。	○指標菌である大腸菌及び嫌気性芽胞菌の検査を行わなければならない。いずれかが検出された場合、耐塩素性病原生物が混入するおそれがあると判断しているか。	適・不適	
		○深井戸であっても構造によっては原水から指標菌が検出されることがあるので注意をしているか。	適・不適	
⑩クリプトスポリジウム等による汚染のおそれの程度に応じた予防対策がされているか。	原水等の検査を適切に行っているか。	○クリプトスポリジウム等の汚染のおそれの程度に応じてクリプトスポリジウム等及び指標菌検査を行っているか。	適・不適	
		○レベル4及びレベル3の施設の設備期間中の施設では、原水の水質クリプトスポリジウム等を3ヶ月に1回以上、指標菌検査を月1回以上行っているか。	適・不適	

6)第21条第1項 健康診断

第21条関連項目	確 認 事 項	具 体 的 な 対 応	判 定	不適の理由等 (メモ)
①定期の健康診断の実施状況は適切か。	(1)定期健康診断は、おおむね6箇月ごとに、病原体がし尿に排泄つされる感染症の患者(病原体の保菌者を含む。)の有無に関して実施されているか。	○定期健康診断は、おおむね6箇月ごとに実施しているか。 4月・10月	適・不適	
	(2)健康診断の実施項目は適切か。	○病原体検索は、赤痢菌、腸チフス菌、パラチフス菌を対象としているか。	適・不適	
		○コレラ菌、赤痢アメーバ、サルモネラ等について行ったことがあるか。	適・不適	
		○急性灰髄炎(小児麻痺)、流行性肝炎、泉熱、感染性下痢症及び各種下痢腸炎について行ったことはあるか。	適・不適	
		○病原体検索は、主として便について行い、必要に応じて尿、血液、その他について行っているか。	適・不適	
		○サルモネラ属菌検査においては、一般に腸チフス菌、パラチフス菌検査が含まれている場合があるので、検査項目について確認しているか。	適・不適	
	(3)健康診断の受診者は適切か。	○水道の取水場、浄水場又は配水池において業務に従事している者及びこれらの施設の設置場所の構内に居住している者全員を対象に健康診断を実施しているか。 ○健康診断実施日に休んでいた者については、後日実施しているか。	適・不適 適・不適	 該当者なし
②臨時の健康診断は適切に実施されているか。	臨時の健康診断が必要となるような状態は生じていないか。生じていると認められている場合には、健康診断を行っているか。	○健康診断対象者が赤痢菌、腸チフス菌、パラチフス菌等の患者又は保菌者となった場合と施設の地域において赤痢等の伝染病(感染症)が発生する等により健康診断対象者に罹患するおそれがある場合に 行っているか。	適・不適	
③過去1年間の健康診断記録が保存されているか。	過去1年間の健康診断に関する記録は保存されているか。	○診断年月日、診断を受けた者の氏名、性別、年齢、診断結果、診断医師名、検便成績、同検査場所が示されているか。	適・不適	
		○他の法令に基づいて行われた健康診断の実績項目が同一の場合はその内容をもって健康診断が実施されたものと見なせる。	適・不適	

7)第22条第1項 衛生上の措置

第22条関連項目	確 認 事 項	具 体 的 な 対 応	判 定	不適の理由等 (メモ)
①水道施設についての汚染防止はなされているのか。また、防護柵、施錠、立入禁止表示等の設置がなされているのか。	(1)取水場、貯水場、導水きよ、浄水場、配水池及びポンプせいは、常に清潔にし、水の汚染防止が充分になされているか。	○年間計画に基づきこれらの施設の清掃、点検巡視を行うとともに、結果について整理しているか。	○ 不適	
	(2)上記の施設には、カギを掛け、柵を設ける等みだりに人畜が施設に立ち入って水が汚染されるのを防止するのに必要な措置が講じられているか。	○施設にさく、門扉、施錠等を設け、人畜が施設に立ち入ることを防止しているか。	○ 不適	
		○汚染防止を喚起するため、必要な標札、立て札、掲示等を設置しているか。	○ 不適	
②給水栓における遊離残留塩素濃度は、基準値以下と管理されているか。	(1)給水栓における水が、遊離残留濃度0.1mg/L(結合残留塩素の場合は0.4mg/L)以上保持するよう適切に塩素消毒が行われているか。	○給水栓における残留塩素濃度の管理目標値を設定し、その確認手順を定めているか。	適・不適	
		○遊離残留塩素の値が高く、消毒副生成物が検出されていることはないか確認しているか。	○ 不適	
		○現状では管末で遊離残留塩素濃度0.1mg/Lを保持している場合でも、将来下回ることがないことを確認しているか。	適・不適	
		○地理的に残留塩素濃度の保持が難しいところについては、塩素の追加設備の設置や配管経路の変更等の対策を検討しているか。	適・不適	
	(2)供給する水が病原生物に著しく汚染されるおそれがある場合又は病原生物に汚染されたことを疑わせるような生物若しくは物質を多量に含むおそれがある場合には、給水栓における水の遊離残留塩素濃度0.2mg/L(結合残留塩素の場合は1.5mg/L)以上を保持するよう適切に塩素消毒が行われているか。	○供給する水が病原生物に著しく汚染されるおそれがある場合又は病原生物に汚染されたことを疑わせるような生物若しくは物質を多量に含む恐れがあるような場合の塩素注入量を増加させる手続きを定めているか。	適・不適	
③消毒が連続的に適正な場所で行われているか。	(1)消毒が中断しないように確認を行っているか。また、消毒設備は消毒が中断しないように常に整備しているか。予備の設備はあるか。	○消毒が中断しないことを確認しているか。	○ 不適	
		○消毒設備の点検整備状況について整理しているか。	○ 不適	
	(2)消毒剤の注入は、量水せい又は配水池等において、消毒剤が十分水に混合するように行われているか。	○消毒剤が十分水に混合するために必要な措置を講じているか。	○ 不適	

8) 第23条第1項 給水の緊急停止

第23条関連項目	確認事項	具体的な対応	判定	不適の理由等 (メモ)
①危機管理マニュアル類の整備はされているか。	危機管理マニュアル(水質事故対策、テロ対策、震災対策、停電時対策等)は設備されているか。	○想定される事故・災害時に万全の対応が出来るように、マニュアルを整備しているか。 ○訓練を定期的に行うとともに更新に努めているか。	適・不適 適・不適	
②連絡体制の整備状況は万全か。	水質事故、地震災害時等緊急時における当該事業者内関係水道事業者及び関係行政機関への連絡・対応体制は整えられているか。また、直ちに適切な対策が講じられるよう平時より関係者に周知しているか。	○緊急時における連絡・通報・対応などの体制を整備し、マニュアル化し、関係者に周知徹底しているか。 ○連絡先、対応窓口、記録の整理等についてマニュアル化して漏れのない体制を整えているか。 ○関係機関への連絡先が緊急時のマニュアルに明記しているか。	適・不適 適・不適 適・不適	
③給水停止等の指揮命令系統は明確であるか。	(1)給水の緊急停止措置の指揮命令系統は、明確になっているか。 (2)給水の緊急停止を行った場合、関係者に周知させる措置が講じられていた。(過去5年間で緊急停止の実績はあるか。またその理由は何か。	○実施時に混乱を来たさないよう指揮命令系統を明確にしているか。 ○受託水道業務技術管理者が指揮命令系統に位置付けられ適切に関与できる体制となっているか。 ○関係者に周知徹底しているか。 ○緊急停止を行った場合は、原因、経過、影響などについて整理し保存しているか。	適・不適 適・不適 適・不適 適・不適	
④応急復旧体制、応急給水体制は確立されているか	応急復旧体制、応急給水体制は確立されているか	○応急復旧に関する事項として、被害想定を行い、手順・方法に関する要領、組織、資機材の備蓄と確保及び建設業者との協力体制等を整備しているか。 ○応急給水に関する事項として、必要水量、給水拠点の想定を行い、手順・方法に関する要領、組織、資機材の確保、応援給水の受け入れ及び衛生管理体制等を整備しているか。	適・不適 適・不適	
⑥危機管理を想定した訓練等に努めているか。	水道の緊急停止措置等緊急事態を想定した、指揮命令伝達などを含んだ訓練等を行っているか。	○水道の緊急停止等の措置を想定した指揮命令伝達などの訓練を行っているか。	適・不適	
⑦危機管理対策として住民への対策を適切に講じることができる体制が整備されているか。	非常時における住民への対策を適切に講じることができる体制が整備されているか。(給水ポイントの選定、広報活動のあり方など)	○訓練時に住民の参加を求め、要望などを取り入れているか。	適・不適	

⑧テロ等危機管理対策として水源監視及び水道施設の警備強化を行っているか。	施設内への来訪者、施設出入り業者の管理を行っているか。	○水道施設の警備を強化するため巡回点検計画を作成しているか。	適・不適	
		○ろ過池等が外部から容易に毒物が投入可能な配置・構造となっている場合、防止策等を検討しているか。	適・不適	
⑨施設内への来訪者の管理を行っているか。	施設内への来訪者、施設出入り業者の管理を行っているか。	○来訪名簿の整備、訪問目的、訪問先の確認、受付用テレビカメラの設置等を行っているか。	適・不適	
⑩停電時に配慮した水道施設の整備等がなされているか。	停電時に配慮した水道施設と施設運用体制の整備がなされているか。	○停電による影響と必要な対策を検討し、マニュアル化しているか。	適・不適	
⑪漏水事故等に備え、資機材の確保は万全か。	漏水事故等に備え、資機材の備蓄、調達はされているか。	○漏水事故等の対応マニュアルを整備しているか。	適・不適	
		○資機材を備蓄しているか。	適・不適	
⑫新型インフルエンザ対策に係る取り組みが進められているか。	水道管理業務受託者の状況に応じた適切な新型インフルエンザ対策が実施されているか。	○水道管理業務受託者の状況に応じた適切な新型インフルエンザ対策がされているか。	適・不適	
		○流行時においても安全確保を前提として水道水を安定的に供給していくための対策がされているか。	適・不適	
⑬情報セキュリティ対策に係る取り組みが進められているか。	水道管理業務受託者の状況に応じた適切な情報セキュリティ対策が実施されているか。	○水道管理業務受託者の状況に応じた適切な情報セキュリティ対策が実施されているか。	適・不適	
		○サイバー攻撃や情報システム障害等により安全な水の安定供給に支障をきたさないための対策が実施されているか。	適・不適	

9) その他の事項

その他の事項	確認事項	具体的な対応	判定	不適の理由等(メモ)
①水道事業の運営に必要な技術レベルを維持するための研修、講習等を行っている。	(1)職員の技術向上と資格要件を満たす技術者を養生するための研修、講習等を実施、又は参加しているか。	○技術系職員の年齢構成について整理しているか。	適・不適	
		○年間の内部、外部を含めた研修計画を取りまとめているか。	適・不適	
	(2)水道事業の運営に必要な技術レベルを維持するための取り組みを行っているか。	○技術系職員を確保する計画をまとめているか。	適・不適	
		○技術の継承するための計画をまとめているか。	適・不適	
②水道事業ガイドラインに規定されている業務指標(PI)を活用した取り組みを行っているか。		○業務指標(PI)を算出しているか。	適・不適	
		○PIについて経年変化を求めているか。	適・不適	

小諸市水道施設等の指定管理者モニタリングチェックリスト

立会検査日 令和4年7月11日

令和 4 年6月分

検査者 小諸市水道技術管理者
立会者 (株)水みらい小諸受託
水道業務技術管理者



0)小諸市独自の確認事項

独自の項目	確認事項	具体的な対応	判定	不適の理由等 (メモ)
施設等の維持管理	修繕の発注件数	契約書の確認	○適・不適	1件
	修繕の完了件数	しゅん工書類の確認	適・不適	0件
	工事の発注件数	契約書の確認	適・不適	0件
	工事の完了件数	しゅん工書類の確認	適・不適	0件
	保守点検の発注件数	契約書の確認	○適・不適	1件
	保守点検の完了件数	しゅん工書類の確認	○適・不適	1件
	水源地・配水池等の巡視	巡視簿の確認	○適・不適	
管路の維持管理	目視による点検	水管橋・道路上の漏水等	○適・不適	
	修繕の発注件数	契約書の確認	適・不適	0件
	修繕の完了件数	しゅん工書類の確認	○適・不適	9件
	路面復旧工事の発注件数	契約書の確認	適・不適	0件
	路面復旧工事の完了件数	しゅん工書類の確認	適・不適	0件
水質管理	水質検査(定期)	法定検査	○適・不適	
	毎日水質検査	残留塩素	○適・不適	
	水質検査(臨時)	法定検査 (水中ドローン実証実験)	○適・不適	1件
	クリプトスポリジウム検査		適・不適	
	放射能検査	年1回(10月)	適・不適	

料金関係				
	料金(現年分)調定	件数:金額、	適・不適	10,996件 80,219,670円
	料金(現年分)収入	件数:金額、	適・不適	9,074件 64,173,388円
	料金(現年分)未収金	件数:金額、	適・不適	11,266件 78,093,010円
	料金(過年分)調定	件数:金額、	適・不適	0件 -26,990円
	料金(過年分)収入	件数:金額、	適・不適	250件 1,225,360円
	料金(過年分)未収金	件数:金額、	適・不適	699件 4,491,450円
	手数料等調定	件数:金額、	適・不適	755件 989,010円
	手数料等収入	件数:金額、	適・不適	782件 1,094,150円
	加入金等調定	件数:金額、	適・不適	24件 2,151,600円
	加入金等収入	件数:金額、	適・不適	33件 2,371,600円
	開栓数	件数	適・不適	130件
	閉栓数	件数	適・不適	116件
	収納率(前年対比) %		適・不適	66.59% (+0.77)
	分納者の入金状況	3・6・9・12月末を確認する	適・不適	
	給水停止の対応状況	通知発送6/7 給水停止執行日6/28、6/29	適・不適	
	未収金の対応状況	移転未収者の催告実施 対象者30人、63件、回収率9.19%	適・不適	
給水申請				
	申請書の審査	審査書の確認	適・不適	36件
	申請書の竣工検査	しゅん工書類の確認	適・不適	22件
量水器の管理				
	検満工事の発注件数	契約書の確認	適・不適	14件
	検満工事の完了件数	しゅん工書類の確認	適・不適	0件
夜間・祝祭日の対応				
	漏水、火災、苦情等の対応	件数:(日誌の確認)	適・不適	17件
施設更新・維持補修の提案				
	更新計画の提案	更新の順位及び概算費用	適・不適	
	維持補修計画の提案	修繕の順位及び概算費用	適・不適	
業務の収支				
	業務収支の状況		適・不適	

○前回モニタリング時指摘事項への対応状況

前回モニタリング時指摘事項	改善等対応状況

○モニタリング結果の総括

指摘・助言事項一覧	
・引き続き新型コロナウイルス感染防止対策の徹底をお願いします。	
・業務計画に基づく適切な実行をお願いします。	
・指定給水装置工事事業者指定更新手続きの適時適切な対応をお願いします。	

次回のモニタリング日： 月 日

小諸市水道施設等の指定管理者モニタリングチェックリスト

1) 第24条水道技術管理者関係

第24条関連項目	確 認 事 項	具 体 的 な 対 応	判 定	不適の理由等 (メモ)
①受託水道業務技術管理者は、適切な役職の者が選任されているか。また資格を満たしているか。	(1)法第24条第3項に掲げる事項に対して適切に選任されているか。	○任命基準については客観的に判断する基準がないが、然るべき者(技術部門の長、若しくはそれに匹敵する者)が任命されているか。	適・不適	
		○水道技術管理者は水道の技術管理の中心責任者となるものであるから、当該水道の規模、知識、権限を有している者を選任しているか。	適・不適	
		○任命権者を明らかにする。	適・不適	
		○任命方法を示す。	適・不適	
	(2)受託水道業務技術管理者の資格要件を満たしているか。	○施行令第6条に定めた資格を有しているか。	適・不適	
②受託水道業務技術管理者は、水道の管理についての技術上の業務を適切に担当しているか。	(1)第19条第2項に掲げる事項に関する事務に従事し、及びこれらの従事する他の職員を監督しているか。	○監督の方法が適切であることを規定、手続きに関するマニュアルなどで示しているか。	適・不適	
		○報告書に決裁欄がある等、監督していることが証明できるか。	適・不適	
		○受託水道業務技術管理者が所属している部署の業務だけでなく、他の部署の業務についても法第19条第2項の事項のすべてについて監督しているか。	適・不適	
	(2)組織として業務を適正に実施することが可能な業務体制、情報管理体制となっているか。	○水道管理業務受託者の組織に位置付けられ、本人が認識していることはもとより、他の職員に周知されているか。	適・不適	
		○業務に関する情報が提供され、かつ、その情報に接したことを決裁欄等に証拠として残されているか。	適・不適	
		○受託水道業務技術管理者の業務を適正に実施可能な業務体制、情報管理体制が備えられているか。	適・不適	
		○補助者が従事監督している場合は規則・規程等で明確に位置付けられているか。	適・不適	

2) 第5条施設基準

第5条関連項目	確 認 事 項	具 体 的 な 対 応	判 定	不適の理由等 (メモ)
---------	---------	-------------	-----	----------------

①水道施設は施設基準を満たしているか。	(1)水に注入される薬品等により水に付加される物質は「水道施設の技術的基準を定める省令」(平成12年2月23日厚生省令第15号)を満たしているか。	○使用する薬品類は納入時の検査又は、成分表により品質を確認しているか。	適・不適	
		○次亜塩素酸ナトリウムの保管について有効濃度の低下に配慮しているか。	適・不適	
②定期的な水道施設の検査が実施されているか。	(1)定期的な水道施設の検査が行われているか。	○法定点検や自主点検の項目と必要頻度について合理的に定め実施しているか。	適・不適	
		○保守点検の点検項目、頻度等が定められているか。	適・不適	
		○保守点検の頻度は低くないか。	適・不適	
	(2)異常状態が発見された場合は、直ちに詳細な検査を行い、補修・改善等を含む適切な措置がなされているか。	○異常が認められた場合には、直ちに詳細な施設検査を実施しているか。 ○施設検査により施設の補修改造が必要なときは、速やかに委託先の小諸市担当者へ報告を行っているか。	適・不適	
③浄水施設、送配水施設などの運転手引書は整備されているか。	浄水施設、送配水施設などの運転手引書は整備されているか。	○施設の劣化状況について調査、把握しているか。	適・不適	
		○浄水施設、送配水施設をはじめとする水道設備の運転手引書を整備しているか。	適・不適	
		○手引書に基づき訓練を実施しているか。	適・不適	
		○水道用薬品貯蔵設備の誤操作を防止するため作業マニュアルを作成するとともに訓練を行っているか。	適・不適	
④施設の管理状況の記録は、適切になされているか。	施設管理日誌、作業日誌等の記録はなされているか。	○施設管理日誌、管理記録、作業日誌、設備点検記録等を作成し施設の状況を把握しているか。	適・不適	
⑤施設図、配管図は適切に整備・保管しているか。	施設図、配管図等は常に更新し、いつでも速やかに利用可能な状態に整理し、保管されているか。	○施設図、配管図等は常に更新を依頼し、いつでも速やかに利用可能な状態に整理し、保管しているか。	適・不適	
⑥漏水防止対策は計画的に実施しているか。	漏水調査計画の立案はしているか。	○漏水調査を実施したか。	適・不適	

3)第13条第1項 給水開始前の水質検査及び施設検査

第13条関連項目	確認事項	具体的な対応	判定	不適の理由等(メモ)
①給水開始検査は適正に実施されているか。	(1)給水開始前検査は、「水質基準に関する省令」及び「水質基準に関する省令の規定に基づき厚生労働	○水質検査は、全項目および消毒の残留効果について実施し、供給される水が法第4条の水質基準に適合していることを確認しているか。	○適・不適	

	大臣が定める方法」並びに「水道施設の技術的基準を定める省令」に沿って適切に実施されている。	○検査方法は省令に定める方法で行っているか。 ○当該新設、増設又は改造に係る施設を得た水道水の末端で採水しているか。 ○施設検査は、浄水及び消毒の能力、流量、圧力、耐力、汚染並びに漏水のうち、施設の新設、増設又は改造による影響のある事項について、施設の新設、増設又は改造に係る施設及び該当影響に関係があると認められる水道施設(給水装置を含む。)について行っているか。	適・不適	
	(2)給水開始前検査の水質試験については、給水管の末端等で行われているか。また必要に応じて、水源、配水池、浄水池等における水質についても検査を行っているか。	○水質検査及び消毒の残留効果の検査の採水場所が、水質基準に適合するかどうかを判断することが出来る場所となっているか。	適・不適	
	(3)検査結果は基準を満たすものであったか。満たしていない場合は適切な処置がなされているか。	○検査結果は基準を満たしていたか。 ○検査結果が基準を満たさなかった場合、その原因を調査し、基準を満足するように必要な措置を講じているか。	適・不適	
	(4)水質検査及び施設検査の記録を作成し、検査を行った日から5年間保存されているか。	○水質検査及び施設検査を行ったときは、その記録を作成し、検査を行った日から5年間保存しているか。	適・不適	
	(5)給水前検査の実施に関し検査内容(水圧試験、水質試験等を含む。)を明定する等検査に関する規則が整備されているか。	○施設の新設、増設又は改造後に行う給水開始前の水圧、構造、資機材等の施設検査及び水質検査の手順を文書化しているか。	適・不適	
	(6)配水施設(配水池を除く。)及び給水装置の新設、増設、改造の場合においても、給水開始前検査に準じて必要な検査を行っているか。	○排水施設(配水池を除く。)及び給水装置についても給水開始前検査に準じて検査を行っているか。 配管状況、管理設深、残留塩素、水圧、異物は無い、水圧試験	適・不適	

4)第16条 給水装置の構造及び材質の検査

第16条関連項目	確認事項	具体的な対応	判定	不適の理由等(メモ)
①給水装置の構造及び材質が政令、省令に定める基準に適合していることを受託水道業務技術管理者の業務として確認する。	給水装置の確認の手順を文書化することが必要である。	○給水装置の確認の手順を文書化しているか。	適・不適	

5)第20条第1項 水質検査

第20条関連項目	確 認 事 項	具 体 的 な 対 応	判 定	不適の理由等 (メモ)
①定期の水質検査は法定の回数行っているか。また、検査項目は適正か。	(1)毎日の水質検査は毎日実施されているか。また、検査項目は適切か。	○土日祝祭日にも行っているか。	○適・不適	
		○消毒の残留効果に関する検査だけではなく、色及び濁りの検査を行っているか。	○適・不適	
	(2)基準項目の水質検査の回数は法定の回数以上実施されているか。また、検査項目は適切か。	○検査項目別に規定されている回数(毎月1回以上、3月に1回以上)の検査を行っているか。(検査回数の減を除く)	○適・不適	
		○基準項目の検査は、基準の表のすべて項目について検査を行っているか。(検査の省力を除く)	○適・不適	
		○これらの試験結果は、速やかに受託水道業務技術管理者まで報告がなされているか。	○適・不適	
		○結果に変動が生じた場合には、原因調査を行い必要な対応策を講じる体制を整備しているか。	適・不適	
	(3)検査回数を減らしている検査項目がある場合、減じることが出来る要件を満たしているか。またその検査頻度は適切か。	○水源地域の汚染源調査を実施し、原水水質の変化を予測しているか。	適・不適	
		○検査回数を減らしている検査項目がある場合は、その要件を毎年整理し、省略できることを確認しているか。	適・不適	
	(4)検査項目の省略を行っている場合、省略できる要件を満たしているか。また、省略を行った場合であっても、概ね3年に1回は省略項目についても水質試験を行っているか。	○検査項目の省略を行っている場合は、その要件を毎年整理し、省略できることを確認しているか。	適・不適	
		○水質検査、給水栓を原則とし、水道施設の構造等を考慮して、当該水道により供給される水が水質基準に適合するかどうかを判断することが出来る場所から採水した水について行っているか。	○適・不適	

②配水池点は適正か。	(1)採水場所は、給水栓を原則とし、当該水道により供給される水が水質基準に適合するかどうかを判断することができる場所を選定しているか。また、特定の検査項目について、浄水施設の出口等を採水場所としている場合には、適切に選定されているか。	○浄水場出口だけではなく、配水管の末端等の水が停滞しやすい場所で行っているか。(ただし、濃度変化がないことが明らかな項目は可)	適・不適	
		○ループ管であっても水が停滞しやすい場所から採水しているか。	適・不適	
		○採水は毎回同じ場所で行い、ローテーションなどで行っていないか。	適・不適	
		○「水質基準に適合しているか判断できる場所」として、給水栓のほか配水管の末端等の水の停滞しやすい場所を含んで	適・不適	
		○水道施設の規模等を考慮し、必要な数の採水場所を選定しているか。	適・不適	
	(2)採水場所数は、水源の種別、浄水施設及び配水施設ごとに合理的な数となっているか。また、配水系統ごとに選定しているか。	○水道の規模、水源の種別、浄水施設及び排水施設構造等を考慮して、合理的に供給される水が水質基準に適合するかどうかを判断することが出来る場所を選定しているか。	適・不適	
		○ループ管であっても合理的な数を選定しているか。	適・不適	
		○水源系統が異なる場合には、系統毎に選定しているか。	適・不適	
③水質管理目標設定項目について水質検査を行っているか。	水質管理目標設定項目について、水源の種別や使用する機材、薬品の観点から着目して項目を設定し、水質検査を実施しているか。また、検査結果を公表しているか。	○水質基準に係る検査に準じた検査等の実施に努めているか。	適・不適	
④水質検査の委託先の選定方法は適切か。	水質検査を適切な機関に委託しているか。	○地方公共団体の機関又は厚生労働大臣の登録を受けた者か。	適・不適	
⑤水質検査結果は水質基準を満たしているか。	(1)水質検査結果は水質基準(水質基準に関する省令)を満たしているか。	○水質検査の結果がでた時点で、直ちに水質基準を満たしているかを確認しているか。また、小諸市に報告しているか。	適・不適	
	(2)水質基準を超えた値が検出された場合は、直ちに原因究明を行い必要な措置を講じているか。	○水質基準を超える値が検出された場合、直ちに原因究明を行う等必要な措置をとる必要が ○受託水道業務技術管理者へ報告される体制を整備しているか。	適・不適 適・不適	異常なし

	(3)異常が認められた場合に、確認のため直ちに再検査を行っているか。	異常が認められた場合に、確認のため直ちに再検査を行っているか。また、小諸市に報告しているか。	適・不適	異常なし
⑥原水の水質検査は適正に実施しているか。	(1)すべての水源の原水について、水質がもっとも悪化していると考えられる時期を含んで少なくとも毎年1回は定期的に全項目検査(消毒副生成物を除く。)を実施しているか。	○もっとも水質が悪化していると考えられる時期の原水水質の検査を行っているか。	適・不適	
	(2)必要に応じて水質管理目標設定項目等についても検査を実施しているか。	○水質管理目標設定項目について水質基準に係る検査に準じた検査等の実施しているか。	○適・不適	
⑦水質検査計画は策定されているか。	(1)毎事業年度の開始前に水質検査計画を策定しているか。	○毎事業年度の開始前に水質検査計画を策定しているか。	適・不適	
	(2)策定されている場合、その内容は適切か。	○策定されている場合、その内容は適切か。	適・不適	
	(3)水質管理目標設定項目及び原水に係る水質検査項目のうち、必要な項目が水質検査計画に位置付けられているか。	○水質検査対象とした又はしない根拠を項目毎に整理しているか。	適・不適	
⑧過去5年間の水質検査記録が保存されているか。	(1)水質検査の記録を適正に作成しているか。	○毎日検査の結果については異常がない場合にも、その旨を明記しているか。	○適・不適	
	(2)過去5年間の水質検査に関する記録は保存されているか。	○定期及び臨時の水質検査を行ったとき、これに関する記録を作成し、水質検査を行った日から起算して5年間、これを保存しているか。	適・不適	
⑨原水のクリプトスポリジウム等(クリプトスポリジウム及びジアルジア)による汚染のおそれの判断をしているか。	指標菌の検出レベル等からリスクレベルの判断を行っているか。	○指標菌である大腸菌及び嫌気性芽胞菌の検査を行わなければならない。いずれかが検出された場合、耐塩素性病原生物が混入するおそれがあると判断しているか。	適・不適	
		○深井戸であっても構造によっては原水から指標菌が検出されることがあるので注意をしているか。	適・不適	
⑩クリプトスポリジウム等による汚染のおそれの程度に応じた予防対策がされているか。	原水等の検査を適切に行っているか。	○クリプトスポリジウム等の汚染のおそれの程度に応じてクリプトスポリジウム等及び指標菌検査を行っているか。	適・不適	
		○レベル4及びレベル3の施設の設備期間中の施設では、原水のクリプトスポリジウム等を3ヶ月に1回以上、指標菌検査を月1回以上行っているか。	適・不適	

6) 第21条第1項 健康診断

第21条関連項目	確認事項	具体的な対応	判定	不適の理由等 (メモ)
① 定期の健康診断の実施状況は適切か。	(1) 定期健康診断は、おおむね6箇月ごとに、病原体がし尿に排泄せつされる感染症の患者(病原体の保菌者を含む。)の有無に関して実施されているか。	○定期健康診断は、おおむね6箇月ごとに実施しているか。 4月・10月	適・不適	
		○病原体検索は、赤痢菌、腸チフス菌、パラチフス菌を対象としているか。	適・不適	
	(2) 健康診断の実施項目は適切か。	○コレラ菌、赤痢アメーバ、サルモネラ等について行ったことがあるか。	適・不適	
		○急性灰髄炎(小児麻痺)、流行性肝炎、泉熱、感染性下痢症及び各種下痢腸炎について行ったことはあるか。	適・不適	
		○病原体検索は、主として便について行い、必要に応じて尿、血液、その他について行っているか。	適・不適	
		○サルモネラ属菌検査においては、一般に腸チフス菌、パラチフス菌検査が含まれている場合があるので、検査項目について確認しているか。	適・不適	
	(3) 健康診断の受診者は適切か。	○水道の取水場、浄水場又は配水池において業務に従事している者及びこれらの施設の設置場所の構内に居住している者全員を対象に健康診断を実施しているか。	適・不適	
		○健康診断実施日に休んでいた者については、後日実施しているか。	適・不適	該当者なし
② 臨時の健康診断は適切に実施されているか。	臨時の健康診断が必要となるような状態は生じていないか。生じていると認められている場合には、健康診断を行っているか。	○健康診断対象者が赤痢菌、腸チフス菌、パラチフス菌等の患者又は保菌者となった場合と施設の地域において赤痢等の伝染病(感染症)が発生する等により健康診断対象者に罹患するおそれがある場合に行っているか。	適・不適	
③ 過去1年間の健康診断記録が保存されているか。	過去1年間の健康診断に関する記録は保存されているか。	○診断年月日、診断を受けた者の氏名、性別、年齢、診断結果、診断医師名、検便成績、同検査場所が示されているか。	適・不適	
		○他の法令に基づいて行われた健康診断の実績項目が同一の場合はその内容をもって健康診断が実施されたものと見	適・不適	

7) 第22条第1項 衛生上の措置

第22条関連項目	確認事項	具体的な対応	判定	不適の理由等 (メモ)
①水道施設についての汚染防止はなされているのか。また、防護柵、施錠、立入禁止表示等の設置がなされているのか。	(1) 取水場、貯水場、導水きよ、浄水場、配水池及びポンプせいは、常に清潔にし、水の汚染防止が充分になされているか。	○年間計画に基づきこれらの施設の清掃、点検巡視を行うとともに、結果について整理しているか。	○適・不適	
	(2) 上記の施設には、カギを掛け、柵を設ける等みだりに人畜が施設に立ち入って水が汚染されるのを防止するのに必要な措置が講じられているか。	○施設にさく、門扉、施錠等を設け、人畜が施設に立ち入ることを防止しているか。 ○汚染防止を喚起するため、必要な標札、立て札、掲示等を設置しているか。	○適・不適 ○適・不適	
②給水栓における遊離残留塩素濃度は、基準値以下とにならないよう管理されているか。	(1) 給水栓における水が、遊離残留濃度0.1mg/L(結合残留塩素の場合は0.4mg/L)以上保持するよう適切に塩素消毒が行われているか。	○給水栓における残留塩素濃度の管理目標値を設定し、その確認手順を定めているか。	適・不適	
		○遊離残留塩素の値が高く、消毒副生成物が検出されていることはないか確認しているか。	○適・不適	
		○現状では管末で遊離残留塩素濃度0.1mg/Lを保持している場合でも、将来下回ることがないことを確認しているか。	適・不適	
		○地理的に残留塩素濃度の保持が難しいところについては、塩素の追加設備の設置や配管経路の変更等の対策を検討しているか。	適・不適	
③消毒が連続的に適正な場所で行われているか。	(2) 供給する水が病原生物に著しく汚染されるおそれがある場合又は病原生物に汚染されたことを疑わせるような生物若しくは物質を多量に含むおそれがある場合には、給水栓における水の遊離残留塩素濃度0.2mg/L(結合残留塩素の場合は1.5mg/L)以上を保持するよう適切に塩素消毒が行われているか。	○供給する水が病原生物に著しく汚染されるおそれがある場合又は病原生物に汚染されたことを疑わせるような生物若しくは物質を多量に含む恐れがあるような場合の塩素注入量を増加させる手続きを定めているか。	適・不適	
	(1) 消毒が中断しないように確認を行っているか。また、消毒設備は消毒が中断しないように常に整備しているか。予備の設備はあるか。	○消毒が中断しないことを確認しているか。 ○消毒設備の点検整備状況について整理しているか。	○適・不適 ○適・不適	
	(2) 消毒剤の注入は、量水せい又は配水池等において、消毒剤が十分水に混合するように行われているか。	○消毒剤が十分水に混合するために必要な措置を講じているか。	○適・不適	

8) 第23条第1項 給水の緊急停止

第23条関連項目	確 認 事 項	具 体 的 な 対 応	判 定	不適の理由等 (メモ)
①危機管理マニュアル類の整備はされているか。	危機管理マニュアル(水質事故対策、テロ対策、震災対策、停電時対策等)は設備されているか。	○想定される事故・災害時に万全の対応が出来るように、マニュアルを整備しているか。	適・不適	
		○訓練を定期的に行うとともに更新に努めているか。	適・不適	
②連絡体制の整備状況は万全か。	水質事故、地震災害時等緊急時における当該事業者及び関係行政機関への連絡・対応体制は整えられているか。また、直ちに適切な対策が講じられるよう平時より関係者に周知しているか。	○緊急時における連絡・通報・対応などの体制を整備し、マニュアル化し、関係者に周知徹底しているか。	適・不適	
		○連絡先、対応窓口、記録の整理等についてマニュアル化して漏れのない体制を整えているか。	適・不適	
		○関係機関への連絡先が緊急時のマニュアルに明記しているか。	適・不適	
③給水停止等の指揮命令系統は明確であるか。	(1)給水の緊急停止措置の指揮命令系統は、明確になっているか。	○実施時に混乱を来たさないよう指揮命令系統を明確にしているか。	適・不適	
		○受託水道業務技術管理者が指揮命令系統に位置付けられ適切に関与できる体制となっているか。	適・不適	
	(2)給水の緊急停止を行った場合、関係者に周知させる措置が講じられていた。(過去5年間以内で緊急停止の実績はあるか。またその理由は何か。	○関係者に周知徹底しているか。 ○緊急停止を行った場合は、原因、経過、影響などについて整理し保存しているか。	適・不適	
④応急復旧体制、応急給水体制は確立されているか	応急復旧体制、応急給水体制は確立されているか	○応急復旧に関する事項として、被害想定を行い、手順・方法に関する要領、組織、資機材の備蓄と確保及び建設業者との協力体制等を整備しているか。	適・不適	
		○応急給水に関する事項として、必要水量、給水拠点の想定を行い、手順・方法に関する要領、組織、資機材の確保、応援給水の受け入れ及び衛生管理体制等を整備しているか。	適・不適	
⑥危機管理を想定した訓練等に努めているか。	水道の緊急停止措置等緊急事態を想定した、指揮命令伝達などを含んだ訓練等を行っているか。	○水道の緊急停止等の措置を想定した指揮命令伝達などの訓練を行っているか。	適・不適	
⑦危機管理対策として住民への対策を適切に講じることができる体制が整備されているか。	非常時における住民への対策を適切に講じることができる体制が整備されているか。(給水ポイントの選定、広報活動のあり方など)	○訓練時に住民の参加を求め、要望などを取り入れているか。	適・不適	

⑧テロ等危機管理対策として水源監視及び水道施設の警備強化を行っているか。	施設内への来訪者、施設出入り業者の管理を行っているか。	○水道施設の警備を強化するため巡回点検計画を作成しているか。	適・不適	
		○ろ過池等が外部から容易に毒物が投入可能な配置・構造となっている場合、防止策等を検討しているか。	適・不適	
⑨施設内への来訪者の管理を行っているか。	施設内への来訪者、施設出入り業者の管理を行っているか。	○来訪名簿の整備、訪問目的、訪問先の確認、受付用テレビカメラの設置等を行っているか。	適・不適	
⑩停電時に配慮した水道施設の整備等がなされているか。	停電時に配慮した水道施設と施設運用体制の整備がなされているか。	○停電による影響と必要な対策を検討し、マニュアル化しているか。	適・不適	
⑪漏水事故等に備え、資機材の確保は万全か。	漏水事故等に備え、資機材の備蓄、調達はされているか。	○漏水事故等の対応マニュアルを整備しているか。	適・不適	
		○資機材を備蓄しているか。	適・不適	
⑫新型インフルエンザ対策に係る取り組みが進められているか。	水道管理業務受託者の状況に応じた適切な新型インフルエンザ対策が実施されているか。	○水道管理業務受託者の状況に応じた適切な新型インフルエンザ対策がされているか。	適・不適	
		○流行時においても安全確保を前提として水道水を安定的に供給していくための対策がされているか。	適・不適	
⑬情報セキュリティ対策に係る取り組みが進められているか。	水道管理業務受託者の状況に応じた適切な情報セキュリティ対策が実施されているか。	○水道管理業務受託者の状況に応じた適切な情報セキュリティ対策が実施されているか。	適・不適	
		○サイバー攻撃や情報システム障害等により安全な水の安定供給に支障をきたさないための対策が実施されているか。	適・不適	

9)その他の事項

その他の事項	確認事項	具体的な対応	判定	不適の理由等(メモ)
①水道事業の運営に必要な技術レベルを維持するための研修、講習等を行っている。	(1)職員の技術向上と資格要件を満たす技術者を養育するための研修、講習等を実施、又は参加しているか。	○技術系職員の年齢構成について整理しているか。	適・不適	
		○年間の内部、外部を含めた研修計画を取りまとめているか。	適・不適	
	(2)水道事業の運営に必要な技術レベルを維持するための取り組みを行っているか。	○技術系職員を確保する計画をまとめているか。	適・不適	
		○技術の継承するための計画をまとめているか。	適・不適	
②水道事業ガイドラインに規定されている業務指標(PI)を活用した取り組みを行っているか。		○業務指標(PI)を算出しているか。	適・不適	
		○PIについて経年変化を求めているか。	適・不適	

小諸市水道施設等の指定管理者モニタリングチェックリスト

立会検査日 令和4年8月10日

令和4年7月分

検査者 小諸市水道技術管理者
立会者 (株)水みらい小諸受託
水道業務技術管理者

0) 小諸市独自の確認事項

独自の項目	確認事項	具体的な対応	判定	不適の理由等 (メモ)
施設等の維持管理	修繕の発注件数	契約書の確認	○適・不適	1件
	修繕の完了件数	しゅん工書類の確認	適・不適	0件
	工事の発注件数	契約書の確認	適・不適	0件
	工事の完了件数	しゅん工書類の確認	○適・不適	2件
	保守点検の発注件数	契約書の確認	適・不適	0件
	保守点検の完了件数	しゅん工書類の確認	適・不適	0件
	水源地・配水池等の巡視	巡視簿の確認	○適・不適	
管路の維持管理	目視による点検	水管橋・道路上の漏水等	○適・不適	
	修繕の発注件数	契約書の確認	適・不適	0件
	修繕の完了件数	しゅん工書類の確認	○適・不適	9件
	路面復旧工事の発注件数	契約書の確認	適・不適	0件
	路面復旧工事の完了件数	しゅん工書類の確認	適・不適	0件
水質管理	水質検査(定期)	法定検査	○適・不適	7月4日
	毎日水質検査	残留塩素	○適・不適	
	水質検査(臨時)	法定検査	適・不適	
	クリプトスポリジウム検査		○適・不適	7月14日
	放射能検査	年1回(10月)	適・不適	

料金関係				
	料金(現年分)調定	件数:金額、	適・不適	9,442件 71,958,700円
	料金(現年分)収入	件数:金額、	適・不適	10,684件 78,478,990円
	料金(現年分)未収金	件数:金額、	適・不適	10,053件 71,572,720円
	料金(過年分)調定	件数:金額、	適・不適	0件 -10,690円
	料金(過年分)収入	件数:金額、	適・不適	108件 510,920円
	料金(過年分)未収金	件数:金額、	適・不適	623件 3,969,840円
	手数料等調定	件数:金額、	適・不適	717件 1,005,280円
	手数料等収入	件数:金額、	適・不適	698件 940,910円
	加入金等調定	件数:金額、	適・不適	19件 2,426,600円
	加入金等収入	件数:金額、	適・不適	19件 2,508,000円
	開栓数	件数	適・不適	144件
	閉栓数	件数	適・不適	111件
	収納率(前年対比) %		適・不適	76.33% (+0.33)
	分納者の入金状況	3・6・9・12月末を確認する	適・不適	
	給水停止の対応状況	通知発送 7/7 給水停止執行日 7/27, 28	適・不適	
	未収金の対応状況	移転未収者の催告実施 対象者31人、68件、回収率1.28%	適・不適	
給水申請				
	申請書の審査	審査書の確認	適・不適	39件
	申請書の竣工検査	しゅん工書類の確認	適・不適	14件
量水器の管理				
	検満工事の発注件数	契約書の確認	適・不適	0件
	検満工事の完了件数	しゅん工書類の確認	適・不適	0件
夜間・祝祭日の対応				
	漏水、火災、苦情等の対応	件数:(日誌の確認)	適・不適	24件
施設更新・維持補修の提案				
	更新計画の提案	更新の順位及び概算費用	適・不適	
	維持補修計画の提案	修繕の順位及び概算費用	適・不適	
業務の収支	業務収支の状況		適・不適	

○前回モニタリング時指摘事項への対応状況

前回モニタリング時指摘事項	改善等対応状況

○モニタリング結果の総括

指摘・助言事項一覧	
・引き続き新型コロナウイルス感染防止対策の徹底をお願いします。	
・業務計画に基づく適切な実行をお願いします。	
・指定給水装置工事事業者指定更新手続きの適時適切な対応をお願いします。	

次回のモニタリング日： 9月 9日

小諸市水道施設等の指定管理者モニタリングチェックリスト

1) 第24条水道技術管理者関係

第24条関連項目	確認事項	具体的な対応	判定	不適の理由等 (メモ)
①受託水道業務技術管理者は、適切な役職の者が選任されているか。また資格を満たしているか。	(1)法第24条第3項に掲げる事項に対して適切に選任されているか。	○任命基準については客観的に判断する基準がないが、然るべき者(技術部門の長、若しくはそれに匹敵する者)が任命されているか。	適・不適	
		○水道技術管理者は水道の技術管理の中心責任者となるものであるから、当該水道の規模、知識、権限を有している者を選任しているか。	適・不適	
		○任命権者を明らかにする。	適・不適	
		○任命方法を示す。	適・不適	
	(2)受託水道業務技術管理者の資格要件を満たしているか。	○施行令第6条に定めた資格を有しているか。	適・不適	
②受託水道業務技術管理者は、水道の管理についての技術上の業務を適切に担当しているか。	(1)第19条第2項に掲げる事項に関する事務に従事し、及びこれらの従事する他の職員を監督しているか。	○監督の方法が適切であることを規定、手続きに関するマニュアルなどで示しているか。	適・不適	
		○報告書に決裁欄がある等、監督していることが証明できるか。	適・不適	
		○受託水道業務技術管理者が所属している部署の業務だけでなく、他の部署の業務についても法第19条第2項の事項のすべてについて監督しているか。	適・不適	
	(2)組織として業務を適正に実施することが可能な業務体制、情報管理体制となっているか。	○水道管理業務受託者の組織に位置付けられ、本人が認識していることはもとより、他の職員に周知されているか。	適・不適	
		○業務に関する情報が提供され、かつ、その情報に接したことを決裁欄等に証拠として残されているか。	適・不適	
		○受託水道業務技術管理者の業務を適正に実施可能な業務体制、情報管理体制が備えられているか。	適・不適	
		○補助者が従事監督している場合は規則・規程等で明確に位置付けられているか。	適・不適	

2) 第5条施設基準

第5条関連項目	確認事項	具体的な対応	判定	不適の理由等 (メモ)
---------	------	--------	----	----------------

①水道施設は施設基準を満たしているか。	(1)水に注入される薬品等により水に付加される物質は「水道施設の技術的基準を定める省令」(平成12年2月23日厚生省令第15号)を満たしているか。	○使用する薬品類は納入時の検査又は、成分表により品質を確認しているか。	適・不適	
		○次亜塩素酸ナトリウムの保管について有効濃度の低下に配慮しているか。	適・不適	
②定期的な水道施設の検査が実施されているか。	(1)定期的な水道施設の検査が行われているか。	○法定点検や自主点検の項目と必要頻度について合理的に定め実施しているか。	適・不適	
		○保守点検の点検項目、頻度等が定められているか。	適・不適	
		○保守点検の頻度は低くないか。	適・不適	
	(2)異常状態が発見された場合は、直ちに詳細な検査を行い、補修・改善等を含む適切な措置がなされているか。	○異常が認められた場合には、直ちに詳細な施設検査を実施しているか。 ○施設検査により施設の補修改造が必要なときは、速やかに委託先の小諸市担当者へ報告を行っているか。	適・不適	
③浄水施設、送配水施設などの運転手引書は整備されているのか。	浄水施設、送配水施設などの運転手引書は整備されているのか。	○施設の劣化状況について調査、把握しているか。	適・不適	
		○浄水施設、送配水施設をはじめとする水道設備の運転手引書を整備しているのか。	適・不適	
		○手引書に基づき訓練を実施しているのか。 ○水道用薬品貯蔵設備の誤操作を防止するため作業マニュアルを作成するとともに訓練を行っているか。	適・不適	
④施設の管理状況の記録は、適切になされているか。	施設管理日誌、作業日誌等の記録はなされているか。	○施設管理日誌、管理記録、作業日誌、設備点検記録等を作成し施設の状況を把握しているか。	適・不適	
⑤施設図、配管図は適切に整備・保管しているか。	施設図、配管図等は常に更新し、いつでも速やかに利用可能な状態に整理し、保管されているか。	○施設図、配管図等は常に更新を依頼し、いつでも速やかに利用可能な状態に整理し、保管しているか。	適・不適	
⑥漏水防止対策は計画的に実施しているか。	漏水調査計画の立案はしているか。	○漏水調査を実施したか。	適・不適	

3)第13条第1項 給水開始前の水質検査及び施設検査

第13条関連項目	確認事項	具体的な対応	判定	不適の理由等(メモ)
①給水開始検査は適正に実施されているか。	(1)給水開始前検査は、「水質基準に関する省令」及び「水質基準に関する省令の規定に基づき厚生労働	○水質検査は、全項目および消毒の残留効果について実施し、供給される水が法第4条の水質基準に適合していることを確認しているか。	○適・不適	

	大臣が定める方法」並びに「水道施設の技術的基準を定める省令」に沿って適切に実施されている。	○検査方法は省令に定める方法で行っているか。 ○当該新設、増設又は改造に係る施設を得た水道水の末端で採水しているか。 ○施設検査は、浄水及び消毒の能力、流量、圧力、耐力、汚染並びに漏水のうち、施設の新設、増設又は改造による影響のある事項について、施設の新設、増設又は改造に係る施設及び該当影響に関係があると認められる水道施設(給水装置を含む。)について行っているか。	適・不適	
	(2)給水開始前検査の水質試験については、給水管の末端等で行われているか。また必要に応じて、水源、配水池、浄水池等における水質についても検査を行っているか。	○水質検査及び消毒の残留効果の検査の採水場所が、水質基準に適合するかどうかを判断することが出来る場所となっているか。	適・不適	
	(3)検査結果は基準を満たすものであったか。満たしていない場合は適切な処置がなされているか。	○検査結果は基準を満たしていたか。 ○検査結果が基準を満たさなかった場合、その原因を調査し、基準を満足するように必要な措置を講じているか。	適・不適	
	(4)水質検査及び施設検査の記録を作成し、検査を行った日から5年間保存されているか。	○水質検査及び施設検査を行ったときは、その記録を作成し、検査を行った日から5年間保存しているか。	適・不適	
	(5)給水前検査の実施に関し検査内容(水圧試験、水質試験等を含む。)を明定する等検査に関する規則が整備されているか。	○施設の新設、増設又は改造後に行う給水開始前の水圧、構造、資機材等の施設検査及び水質検査の手順を文書化しているか。	適・不適	
	(6)配水施設(配水池を除く。)及び給水装置の新設、増設、改造の場合においても、給水開始前検査に準じて必要な検査を行っているか。	○排水施設(配水池を除く。)及び給水装置についても給水開始前検査に準じて検査を行っているか。 配管状況、管理設深、残留塩素、水圧、異物は無いか、水圧試験	適・不適	

4)第16条 給水装置の構造及び材質の検査

第16条関連項目	確認事項	具体的な対応	判定	不適の理由等(メモ)
①給水装置の構造及び材質が政令、省令に定める基準に適合していることを受託水道業務技術管理者の業務として確認する。	給水装置の確認の手順を文書化することが必要である。	○給水装置の確認の手順を文書化しているか。	適・不適	

5) 第20条第1項 水質検査

第20条関連項目	確 認 事 項	具 体 的 な 対 応	判 定	不適の理由等 (メモ)
① 定期の水質検査は法定の回数行っているか。また、検査項目は適正か。	(1) 毎日の水質検査は毎日実施されているか。また、検査項目は適切か。	○ 土日祝祭日にも行っているか。	適・不適	
		○ 消毒の残留効果に関する検査だけではなく、色及び濁りの検査を行っているか。	適・不適	
	(2) 基準項目の水質検査の回数は法定の回数以上実施されているか。また、検査項目は適切か。	○ 検査項目別に規定されている回数(毎月1回以上、3月に1回以上)の検査を行っているか。(検査回数の減を除く)	適・不適	
		○ 基準項目の検査は、基準の表のすべて項目について検査を行っているか。(検査の省力を除く)	適・不適	
		○ これらの試験結果は、速やかに受託水道業務技術管理者まで報告がなされているか。	適・不適	
		○ 結果に変動が生じた場合には、原因調査を行い必要な対応策を講じる体制を整備しているか。	適・不適	
	(3) 検査回数を減らしている検査項目がある場合、減じることが出来る要件を満たしているか。またその検査頻度は適切か。	○ 水源地域の汚染源調査を実施し、原水水質の変化を予測しているか。	適・不適	
		○ 検査回数を減らしている検査項目がある場合は、その要件を毎年整理し、省略できることを確認しているか。	適・不適	
	(4) 検査項目の省略を行っている場合、省略できる要件を満たしているか。また、省略を行った場合であっても、概ね3年に1回は省略項目についても水質試験を行っているか。	○ 検査項目の省略を行っている場合は、その要件を毎年整理し、省略できることを確認しているか。	適・不適	
		○ 水質検査、給水栓を原則とし、水道施設の構造等を考慮して、当該水道により供給される水が水質基準に適合するかどうかを判断することが出来る場所から採水した水について行っているか。	適・不適	

②配水池点は適正か。	(1)採水場所は、給水栓を原則とし、当該水道により供給される水が水質基準に適合するかどうかを判断することができる場所を選定しているか。また、特定の検査項目について、浄水施設の出口等を採水場所としている場合には、適切に選定されているか。	○浄水場出口だけではなく、配水管の末端等の水が停滞しやすい場所で行っているか。(ただし、濃度変化がないことが明らかな項目は可)	○適・不適	
		○ループ管であっても水が停滞しやすい場所から採水しているか。	○適・不適	
		○採水は毎回同じ場所で行い、ローテーションなどで行っていないか。	○適・不適	
		○「水質基準に適合しているか判断できる場所」として、給水栓のほか配水管の末端等の水の停滞しやすい場所を含んで	○適・不適	
		○水道施設の規模等を考慮し、必要な数の採水場所を選定しているか。	○適・不適	
	(2)採水か所数は、水源の種別、浄水施設及び配水施設ごとに合理的な数となっているか。また、配水系統ごとに選定しているか。	○水道の規模、水源の種別、浄水施設及び排水施設構造等を考慮して、合理的に供給される水が水質基準に適合するかどうかを判断することが出来る場所を選定しているか。	○適・不適	
		○ループ管であっても合理的な数を選定しているか。	○適・不適	
		○水源系統が異なる場合には、系統毎に選定しているか。	○適・不適	
③水質管理目標設定項目について水質検査を行っているか。	水質管理目標設定項目について、水源の種別や使用する機材、薬品の観点から着目して項目を設定し、水質検査を実施しているか。また、検査結果を公表しているか。	○水質基準に係る検査に準じた検査等の実施に努めているか。	○適・不適	
④水質検査の委託先の選定方法は適切か。	水質検査を適切な機関に委託しているか。	○地方公共団体の機関又は厚生労働大臣の登録を受けた者か。	○適・不適	
⑤水質検査結果は水質基準を満たしているか。	(1)水質検査結果は水質基準(水質基準に関する省令)を満たしているか。	○水質検査の結果がでた時点で、直ちに水質基準を満たしているかを確認しているか。また、小諸市に報告しているか。	○適・不適	
	(2)水質基準を超えた値が検出された場合は、直ちに原因究明を行い必要な措置を講じているか。	○水質基準を超える値が検出された場合、直ちに原因究明を行う等必要な措置をとる必要が ○受託水道業務技術管理者へ報告される体制を整備しているか。	適・不適 適・不適	異常なし

	(3)異常が認められた場合に、確認のため直ちに再検査を行っているか。	異常が認められた場合に、確認のため直ちに再検査を行っているか。また、小諸市に報告しているか。	適・不適	異常なし
⑥原水の水質検査は適正に実施しているか。	(1)すべての水源の原水について、水質がもっとも悪化していると考えられる時期を含んで少なくとも毎年1回は定期的に全項目検査(消毒副生成物を除く。)を実施しているか。	○もっとも水質が悪化していると考えられる時期の原水水質の検査を行っているか。	適・不適	
	(2)必要に応じて水質管理目標設定項目等についても検査を実施しているか。	○水質管理目標設定項目について水質基準に係る検査に準じた検査等の実施しているか。	○適・不適	
⑦水質検査計画は策定されているか。	(1)毎事業年度の開始前に水質検査計画を策定しているか。	○毎事業年度の開始前に水質検査計画を策定しているか。	適・不適	
	(2)策定されている場合、その内容は適切か。	○策定されている場合、その内容は適切か。	適・不適	
	(3)水質管理目標設定項目及び原水に係る水質検査項目のうち、必要な項目が水質検査計画に位置付けられているか。	○水質検査対象とした又はしない根拠を項目毎に整理しているか。	適・不適	
⑧過去5年間の水質検査記録が保存されているか。	(1)水質検査の記録を適正に作成しているか。	○毎日検査の結果については異常がない場合にも、その旨を明記しているか。	○適・不適	
	(2)過去5年間の水質検査に関する記録は保存されているか。	○定期及び臨時の水質検査を行ったとき、これに関する記録を作成し、水質検査を行った日から起算して5年間、これを保存しているか。	適・不適	
⑨原水のクリプトスポリジウム等(クリプトスポリジウム及びジアルジア)による汚染のおそれの判断をしているか。	指標菌の検出レベル等からリスクレベルの判断を行っているか。	○指標菌である大腸菌及び嫌気性芽胞菌の検査を行わなければならない。いずれかが検出された場合、耐塩素性病原生物が混入するおそれがあると判断しているか。	適・不適	
		○深井戸であっても構造によっては原水から指標菌が検出されることがあるので注意をしているか。	適・不適	
⑩クリプトスポリジウム等による汚染のおそれの程度に応じた予防対策がされているか。	原水等の検査を適切に行っているか。	○クリプトスポリジウム等の汚染のおそれの程度に応じてクリプトスポリジウム等及び指標菌検査を行っているか。	適・不適	
		○レベル4及びレベル3の施設の設備期間中の施設では、原水 of クリプトスポリジウム等を3ヶ月に1回以上、指標菌検査を月1回以上行っているか。	適・不適	

6) 第21条第1項 健康診断

第21条関連項目	確 認 事 項	具 体 的 な 対 応	判 定	不適の理由等 (メモ)
① 定期の健康診断の実施状況は適切か。	(1) 定期健康診断は、おおむね6箇月ごとに、病原体がし尿に排泄せつされる感染症の患者(病原体の保菌者を含む。)の有無に関して実施されているか。	○定期健康診断は、おおむね6箇月ごとに実施しているか。 4月・10月	適・不適	
	(2) 健康診断の実施項目は適切か。	○病原体検索は、赤痢菌、腸チフス菌、パラチフス菌を対象としているか。	適・不適	
		○コレラ菌、赤痢アメーバ、サルモネラ等について行ったことがあるか。	適・不適	
		○急性灰髄炎(小児麻痺)、流行性肝炎、泉熱、感染性下痢症及び各種下痢腸炎について行ったことはあるか。	適・不適	
		○病原体検索は、主として便について行い、必要に応じて尿、血液、その他について行っているか。	適・不適	
		○サルモネラ属菌検査においては、一般に腸チフス菌、パラチフス菌検査が含まれている場合があるので、検査項目について確認しているか。	適・不適	
	(3) 健康診断の受診者は適切か。	○水道の取水場、浄水場又は配水池において業務に従事している者及びこれらの施設の設置場所の構内に居住している者全員を対象に健康診断を実施しているか。	適・不適	
		○健康診断実施日に休んでいた者については、後日実施しているか。	適・不適	該当者なし
② 臨時の健康診断は適切に実施されているか。	臨時の健康診断が必要となるような状態は生じていないか。生じていると認められている場合には、健康診断を行っているか。	○健康診断対象者が赤痢菌、腸チフス菌、パラチフス菌等の患者又は保菌者となった場合と施設の地域において赤痢等の伝染病(感染症)が発生する等により健康診断対象者に罹患するおそれがある場合にを行っているか。	適・不適	
③ 過去1年間の健康診断記録が保存されているか。	過去1年間の健康診断に関する記録は保存されているか。	○診断年月日、診断を受けた者の氏名、性別、年齢、診断結果、診断医師名、検便成績、同検査場所が示されているか。	適・不適	
		○他の法令に基づいて行われた健康診断の実績項目が同一の場合はその内容をもって健康診断が実施されたものと見	適・不適	

7) 第22条第1項 衛生上の措置

第22条関連項目	確認事項	具体的な対応	判定	不適の理由等 (メモ)
①水道施設についての汚染防止はなされているのか。また、防護柵、施錠、立入禁止表示等の設置がなされているのか。	(1) 取水場、貯水場、導水きよ、浄水場、配水池及びポンプせいは、常に清潔にし、水の汚染防止が充分になされているか。	○年間計画に基づきこれらの施設の清掃、点検巡視を行うとともに、結果について整理しているか。	○適・不適	
	(2) 上記の施設には、カギを掛け、柵を設ける等みだりに人畜が施設に立ち入って水が汚染されるのを防止するのに必要な措置が講じられているか。	○施設にさく、門扉、施錠等を設け、人畜が施設に立ち入ることを防止しているか。	○適・不適	
		○汚染防止を喚起するため、必要な標札、立て札、掲示等を設置しているか。	○適・不適	
②給水栓における遊離残留塩素濃度は、基準値以下とにならないよう管理されているか。	(1) 給水栓における水が、遊離残留濃度0.1mg/L(結合残留塩素の場合は0.4mg/L)以上保持するよう適切に塩素消毒が行われているか。	○給水栓における残留塩素濃度の管理目標値を設定し、その確認手順を定めているか。	適・不適	
		○遊離残留塩素の値が高く、消毒副生成物が検出されていることはないか確認しているか。	○適・不適	
		○現状では管末で遊離残留塩素濃度0.1mg/Lを保持している場合でも、将来下回ることがないことを確認しているか。	適・不適	
		○地理的に残留塩素濃度の保持が難しいところについては、塩素の追加設備の設置や配管経路の変更等の対策を検討しているか。	適・不適	
	(2) 供給する水が病原生物に著しく汚染されるおそれがある場合又は病原生物に汚染されたことを疑わせるような生物若しくは物質を多量に含むおそれがある場合には、給水栓における水の遊離残留塩素濃度0.2mg/L(結合残留塩素の場合は1.5mg/L)以上を保持するよう適切に塩素消毒が行われているか。	○供給する水が病原生物に著しく汚染されるおそれがある場合又は病原生物に汚染されたことを疑わせるような生物若しくは物質を多量に含む恐れがあるような場合の塩素注入量を増加させる手続きを定めているか。	適・不適	
③消毒が連続的に適正な場所で行われているか。	(1) 消毒が中断しないように確認を行っているか。また、消毒設備は消毒が中断しないように常に整備しているか。予備の設備はあるか。	○消毒が中断しないことを確認しているか。	○適・不適	
		○消毒設備の点検整備状況について整理しているか。	○適・不適	
	(2) 消毒剤の注入は、量水せい又は配水池等において、消毒剤が十分水に混合するように行われているか。	○消毒剤が十分水に混合するために必要な措置を講じているか。	○適・不適	

8) 第23条第1項 給水の緊急停止

第23条関連項目	確 認 事 項	具 体 的 な 対 応	判 定	不適の理由等 (メモ)
①危機管理マニュアル類の整備はされているか。	危機管理マニュアル(水質事故対策、テロ対策、震災対策、停電時対策等)は設備されているか。	○想定される事故・災害時に万全の対応が出来るように、マニュアルを整備しているか。	適・不適	
		○訓練を定期的に行うとともに更新に努めているか。	適・不適	
②連絡体制の整備状況は万全か。	水質事故、地震災害時等緊急時における当該事業者内関係水道事業者及び関係行政機関への連絡・対応体制は整えられているか。また、直ちに適切な対策が講じられるよう平時より関係者に周知しているか。	○緊急時における連絡・通報・対応などの体制を整備し、マニュアル化し、関係者に周知徹底しているか。	適・不適	
		○連絡先、対応窓口、記録の整理等についてマニュアル化して漏れのない体制を整えているか。	適・不適	
		○関係機関への連絡先が緊急時のマニュアルに明記しているか。	適・不適	
③給水停止等の指揮命令系統は明確であるか。	(1)給水の緊急停止措置の指揮命令系統は、明確になっているか。	○実施時に混乱を来たさないよう指揮命令系統を明確にしているか。	適・不適	
		○受託水道業務技術管理者が指揮命令系統に位置付けられ適切に関与できる体制となっているか。	適・不適	
	(2)給水の緊急停止を行った場合、関係者に周知させる措置が講じられていた。(過去5年間以内で緊急停止の実績はあるか。またその理由は何か。	○関係者に周知徹底しているか。	適・不適	
		○緊急停止を行った場合は、原因、経過、影響などについて整理し保存しているか。	適・不適	
④応急復旧体制、応急給水体制は確立されているか	応急復旧体制、応急給水体制は確立されているか	○応急復旧に関する事項として、被害想定を行い、手順・方法に関する要領、組織、資機材の備蓄と確保及び建設業者との協力体制等を整備しているか。	適・不適	
		○応急給水に関する事項として、必要水量、給水拠点の想定を行い、手順・方法に関する要領、組織、資機材の確保、応援給水の受け入れ及び衛生管理体制等を整備しているか。	適・不適	
⑥危機管理を想定した訓練等に努めているか。	水道の緊急停止措置等緊急事態を想定した、指揮命令伝達などを含んだ訓練等を行っているか。	○水道の緊急停止等の措置を想定した指揮命令伝達などの訓練を行っているか。	適・不適	
⑦危機管理対策として住民への対策を適切に講じることができる体制が整備されているか。	非常時における住民への対策を適切に講じることができる体制が整備されているか。(給水ポイントの選定、広報活動のあり方など)	○訓練時に住民の参加を求め、要望などを取り入れているか。	適・不適	

⑧テロ等危機管理対策として水源監視及び水道施設の警備強化を行っているか。	施設内への来訪者、施設出入り業者の管理を行っているか。	○水道施設の警備を強化するため巡回点検計画を作成しているか。	適・不適	
		○ろ過池等が外部から容易に毒物が投入可能な配置・構造となっている場合、防止策等を検討しているか。	適・不適	
⑨施設内への来訪者の管理を行っているか。	施設内への来訪者、施設出入り業者の管理を行っているか。	○来訪名簿の整備、訪問目的、訪問先の確認、受付用テレビカメラの設置等を行っているか。	適・不適	
⑩停電時に配慮した水道施設の整備等がなされているか。	停電時に配慮した水道施設と施設運用体制の整備がなされているか。	○停電による影響と必要な対策を検討し、マニュアル化しているか。	適・不適	
⑪漏水事故等に備え、資機材の確保は万全か。	漏水事故等に備え、資機材の備蓄、調達はされているか。	○漏水事故等の対応マニュアルを整備しているか。	適・不適	
		○資機材を備蓄しているか。	適・不適	
⑫新型インフルエンザ対策に係る取り組みが進められているか。	水道管理業務受託者の状況に応じた適切な新型インフルエンザ対策が実施されているか。	○水道管理業務受託者の状況に応じた適切な新型インフルエンザ対策がされているか。	適・不適	
		○流行時においても安全確保を前提として水道水を安定的に供給していくための対策がされているか。	適・不適	
⑬情報セキュリティ対策に係る取り組みが進められているか。	水道管理業務受託者の状況に応じた適切な情報セキュリティ対策が実施されているか。	○水道管理業務受託者の状況に応じた適切な情報セキュリティ対策が実施されているか。	適・不適	
		○サイバー攻撃や情報システム障害等により安全な水の安定供給に支障をきたさないための対策が実施されているか。	適・不適	

9)その他の事項

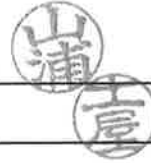
その他の事項	確認事項	具体的な対応	判定	不適の理由等(メモ)
①水道事業の運営に必要な技術レベルを維持するための研修、講習等を行っている。	(1)職員の技術向上と資格要件を満たす技術者を養育するための研修、講習等を実施、又は参加しているか。	○技術系職員の年齢構成について整理しているか。	適・不適	
		○年間の内部、外部を含めた研修計画を取りまとめているか。	適・不適	
	(2)水道事業の運営に必要な技術レベルを維持するための取り組みを行っているか。	○技術系職員を確保する計画をまとめているか。	適・不適	
		○技術の継承するための計画をまとめているか。	適・不適	
②水道事業ガイドラインに規定されている業務指標(PI)を活用した取り組みを行っているか。		○業務指標(PI)を算出しているか。	適・不適	
		○PIについて経年変化を求めているか。	適・不適	

小諸市水道施設等の指定管理者モニタリングチェックリスト

立会検査日 令和4年9月9日

令和4年8月分

検査者 小諸市水道技術管理者
立会者 ㈱水みらい小諸受託
水道業務技術管理者



0) 小諸市独自の確認事項

独自の項目	確認事項	具体的な対応	判定	不適の理由等 (メモ)
施設等の維持管理	修繕の発注件数	契約書の確認	適・不適	0件
	修繕の完了件数	しゅん工書類の確認	適・不適	0件
	工事の発注件数	契約書の確認	適・不適	0件
	工事の完了件数	しゅん工書類の確認	適・不適	0件
	保守点検の発注件数	契約書の確認	適・不適	0件
	保守点検の完了件数	しゅん工書類の確認	○適・不適	3件
	水源地・配水池等の巡視	巡視簿の確認	○適・不適	
管路の維持管理	目視による点検	水管橋・道路上の漏水等	○適・不適	
	修繕の発注件数	契約書の確認	適・不適	0件
	修繕の完了件数	しゅん工書類の確認	○適・不適	7件
	路面復旧工事の発注件数	契約書の確認	適・不適	0件
	路面復旧工事の完了件数	しゅん工書類の確認	適・不適	0件
水質管理	水質検査(定期)	法定検査	○適・不適	8/3:8検体、8/18:9検体、 8/25:7検体、8/29:11検体
	毎日水質検査	残留塩素	○適・不適	
	水質検査(臨時)	法定検査	適・不適	
	クリプトスポリジウム検査		適・不適	
	放射能検査	年1回(10月)	適・不適	

料金関係				
	料金(現年分)調定	件数:金額、	適・不適	10,992件 83,807,920円
	料金(現年分)収入	件数:金額、	適・不適	9,849件 72,919,600円
	料金(現年分)未収金	件数:金額、	適・不適	11,266件 82,461,040円
	料金(過年分)調定	件数:金額、	適・不適	0件 -6,170円
	料金(過年分)収入	件数:金額、	適・不適	60件 182,000円
	料金(過年分)未収金	件数:金額、	適・不適	585件 3,781,670円
	手数料等調定	件数:金額、	適・不適	806件 625,280円
	手数料等収入	件数:金額、	適・不適	829件 786,310円
	加入金等調定	件数:金額、	適・不適	19件 2,536,600円
	加入金等収入	件数:金額、	適・不適	17件 1,491,617円
	開栓数	件数	適・不適	176件
	閉栓数	件数	適・不適	141件
	収納率(前年対比) %		適・不適	78.59% (-0.27)
	分納者の入金状況	3・6・9・12月末を確認する	適・不適	
	給水停止の対応状況	通知発送8/8 給水停止執行日 8/24, 8/25	適・不適	
	未収金の対応状況	移転未収者の催告実施 対象者59人、133件、回収率3.52%	適・不適	
給水申請				
	申請書の審査	審査書の確認	適・不適	21件
	申請書の竣工検査	しゅん工書類の確認	適・不適	26件
量水器の管理				
	検満工事の発注件数	契約書の確認	適・不適	0件
	検満工事の完了件数	しゅん工書類の確認	適・不適	0件
夜間・祝祭日の対応				
	漏水、火災、苦情等の対応	件数:(日誌の確認)	適・不適	21件
施設更新・維持補修の提案				
	更新計画の提案	更新の順位及び概算費用	適・不適	
	維持補修計画の提案	修繕の順位及び概算費用	適・不適	
業務の収支				
	業務収支の状況		適・不適	

○前回モニタリング時指摘事項への対応状況

前回モニタリング時指摘事項	改善等対応状況

○モニタリング結果の総括

指摘・助言事項一覧	
・引き続き新型コロナウイルス感染防止対策の徹底をお願いします。	
・業務計画に基づく適切な実行をお願いします。	
・指定給水装置工事事業者指定更新手続きの適時適切な対応をお願いします。	
・給水装置工事に関する事前相談案件について、申込時に事前相談内容とその結果を再確認し、設計審査に反映されるようお願いします。	
・苦情等があった場合は、再発防止につながるよう事案の双方共有をお願いします。	
・配管状況等について、遠方の方からの問い合わせに対し、誠意対応できる方法の検討をお願いします。	

次回のモニタリング日： 10月 7日

小諸市水道施設等の指定管理者モニタリングチェックリスト

1) 第24条水道技術管理者関係

第24条関連項目	確 認 事 項	具 体 的 な 対 応	判 定	不適の理由等 (メモ)
①受託水道業務技術管理者は、適切な役職の者が選任されているか。また資格を満たしているか。	(1)法第24条第3項に掲げる事項に対して適切に選任されているか。	○任命基準については客観的に判断する基準がないが、然るべき者(技術部門の長、若しくはそれに匹敵する者)が任命されているか。	適・不適	
		○水道技術管理者は水道の技術管理の中心責任者となるものであるから、当該水道の規模、知識、権限を有している者を選任しているか。	適・不適	
		○任命権者を明らかにする。	適・不適	
		○任命方法を示す。	適・不適	
	(2)受託水道業務技術管理者の資格要件を満たしているか。	○施行令第6条に定めた資格を有しているか。	適・不適	
②受託水道業務技術管理者は、水道の管理についての技術上の業務を適切に担当しているか。	(1)第19条第2項に掲げる事項に関する事務に従事し、及びこれらの従事する他の職員を監督しているか。	○監督の方法が適切であることを規定、手続きに関するマニュアルなどで示しているか。	適・不適	
		○報告書に決裁欄がある等、監督していることが証明できるか。	適・不適	
		○受託水道業務技術管理者が所属している部署の業務だけでなく、他の部署の業務についても法第19条第2項の事項のすべてについて監督しているか。	適・不適	
	(2)組織として業務を適正に実施することが可能な業務体制、情報管理体制となっているか。	○水道管理業務受託者の組織に位置付けられ、本人が認識していることはもとより、他の職員に周知されているか。	適・不適	
		○業務に関する情報が提供され、かつ、その情報に接したことを決裁欄等に証拠として残されているか。	適・不適	
		○受託水道業務技術管理者の業務を適正に実施可能な業務体制、情報管理体制が備えられているか。	適・不適	
		○補助者が従事監督している場合は規則・規程等で明確に位置付けられているか。	適・不適	

2) 第5条施設基準

第5条関連項目	確 認 事 項	具 体 的 な 対 応	判 定	不適の理由等 (メモ)
---------	---------	-------------	-----	----------------

①水道施設は施設基準を満たしているか。	(1)水に注入される薬品等により水に付加される物質は「水道施設の技術的基準を定める省令」(平成12年2月23日厚生省令第15号)を満たしているか。	○使用する薬品類は納入時の検査又は、成分表により品質を確認しているか。	適・不適	
		○次亜塩素酸ナトリウムの保管について有効濃度の低下に配慮しているか。	適・不適	
②定期的な水道施設の検査が実施されているか。	(1)定期的な水道施設の検査が行われているか。	○法定点検や自主点検の項目と必要頻度について合理的に定め実施しているか。	適・不適	
		○保守点検の点検項目、頻度等が定められているか。	適・不適	
		○保守点検の頻度は低くないか。	適・不適	
	(2)異常状態が発見された場合は、直ちに詳細な検査を行い、補修・改善等を含む適切な措置がなされているか。	○異常が認められた場合には、直ちに詳細な施設検査を実施しているか。	適・不適	
③浄水施設、送配水施設などの運転手引書は整備されているか。		○施設検査により施設の補修改造が必要なときは、速やかに委託先の小諸市担当者へ報告を行っているか。	適・不適	
	(3)水道施設の機能は適切に維持できているか。	○施設の劣化状況について調査、把握しているか。	適・不適	
	浄水施設、送配水施設などの運転手引書は整備されているのか。	○浄水施設、送配水施設をはじめとする水道設備の運転手引書を整備しているのか。	適・不適	
④施設の管理状況の記録は、適切になされているか。		○手引書に基づき訓練を実施しているのか。	適・不適	
		○水道用薬品貯蔵設備の誤操作を防止するため作業マニュアルを作成するとともに訓練を行っているか。	適・不適	
⑤施設の管理状況の記録は、適切になされているか。	施設管理日誌、作業日誌等の記録はなされているか。	○施設管理日誌、管理記録、作業日誌、設備点検記録等を作成し施設の状況を把握しているか。	適・不適	
⑥漏水防止対策は計画的に実施しているか。	施設図、配管図等は常に更新し、いつでも速やかに利用可能な状態に整理し、保管されているか。	○施設図、配管図等は常に更新を依頼し、いつでも速やかに利用可能な状態に整理し、保管しているか。	適・不適	
	漏水調査計画の立案はしているか。	○漏水調査を実施したか。	適・不適	

3)第13条第1項 給水開始前の水質検査及び施設検査

第13条関連項目	確認事項	具体的な対応	判定	不適の理由等(メモ)
①給水開始検査は適正に実施されているか。	(1)給水開始前検査は、「水質基準に関する省令」及び「水質基準に関する省令の規定に基づき厚生労働	○水質検査は、全項目および消毒の残留効果について実施し、供給される水が法第4条の水質基準に適合していることを確認しているか。	○適・不適	

大臣が定める方法」並びに「水道施設の技術的基準を定める省令」に沿って適切に実施されている。	○検査方法は省令に定める方法で行っているか。	○適・不適	
	○当該新設、増設又は改造に係る施設を得た水道水の末端で採水しているか。	○適・不適	
	○施設検査は、浄水及び消毒の能力、流量、圧力、耐力、汚染並びに漏水のうち、施設の新設、増設又は改造による影響のある事項について、施設の新設、増設又は改造に係る施設及び該当影響に関係があると認められる水道施設(給水装置を含む。)について行っているか。	○適・不適	
	(2)給水開始前検査の水質試験については、給水管の末端等で行われているか。また必要に応じて、水源、配水池、浄水池等における水質についても検査を行っているか。	○適・不適	
	(3)検査結果は基準を満たすものであったか。満たしていない場合は適切な処置がなされているか。	○適・不適	
	(4)水質検査及び施設検査の記録を作成し、検査を行った日から5年間保存されているか。	○適・不適	
(5)給水前検査の実施に関し検査内容(水圧試験、水質試験等を含む。)を明定する等検査に関する規則が整備されているか。	○施設の新設、増設又は改造後に行う給水開始前の水圧、構造、資機材等の施設検査及び水質検査の手順を文書化しているか。	○適・不適	
(6)配水施設(配水池を除く。)及び給水装置の新設、増設、改造の場合においても、給水開始前検査に準じて必要な検査を行っているか。	○排水施設(配水池を除く。)及び給水装置についても給水開始前検査に準じて検査を行っているか。 配管状況、管埋設深、残留塩素、水圧、異物は無いか、水圧試験	○適・不適	

4)第16条 給水装置の構造及び材質の検査

第16条関連項目	確認事項	具体的な対応	判定	不適の理由等(メモ)
①給水装置の構造及び材質が政令、省令に定める基準に適合していることを受託水道業務技術管理者の業務として確認する。	給水装置の確認の手順を文書化することが必要である。	○給水装置の確認の手順を文書化しているか。	○適・不適	

5) 第20条第1項 水質検査

第20条関連項目	確認事項	具体的な対応	判定	不適の理由等 (メモ)
① 定期の水質検査は法定の回数行っているか。また、検査項目は適正か。	(1) 毎日の水質検査は毎日実施されているか。また、検査項目は適切か。	○ 土日祝祭日にも行っているか。	適・不適	
		○ 消毒の残留効果に関する検査だけではなく、色及び濁りの検査を行っているか。	適・不適	
	(2) 基準項目の水質検査の回数は法定の回数以上実施されているか。また、検査項目は適切か。	○ 検査項目別に規定されている回数(毎月1回以上、3月に1回以上)の検査を行っているか。(検査回数の減を除く)	適・不適	
		○ 基準項目の検査は、基準の表のすべて項目について検査を行っているか。(検査の省力を除く)	適・不適	
		○ これらの試験結果は、速やかに受託水道業務技術管理者まで報告がなされているか。	適・不適	
		○ 結果に変動が生じた場合には、原因調査を行い必要な対応策を講じる体制を整備しているか。	適・不適	
	(3) 検査回数を減らしている検査項目がある場合、減じることが出来る要件を満たしているか。またその検査頻度は適切か。	○ 水源地域の汚染源調査を実施し、原水水質の変化を予測しているか。	適・不適	
		○ 検査回数を減らしている検査項目がある場合は、その要件を毎年整理し、省略できることを確認しているか。	適・不適	
	(4) 検査項目の省略を行っている場合、省略できる要件を満たしているか。また、省略を行った場合であっても、概ね3年に1回は省略項目についても水質試験を行っているか。	○ 検査項目の省略を行っている場合は、その要件を毎年整理し、省略できることを確認しているか。	適・不適	
		○ 水質検査、給水栓を原則とし、水道施設の構造等を考慮して、当該水道により供給される水が水質基準に適合するかどうかを判断することが出来る場所から採水した水について行っているか。	適・不適	

②配水池点は適正か。	(1)採水場所は、給水栓を原則とし、当該水道により供給される水が水質基準に適合するかどうかを判断することができる場所を選定しているか。また、特定の検査項目について、浄水施設の出口等を採水場所としている場合には、適切に選定されているか。	○浄水場出口だけではなく、配水管の末端等の水が停滞しやすい場所で行っているか。(ただし、濃度変化がないことが明らかな項目は可)	適・不適	
		○ループ管であっても水が停滞しやすい場所から採水しているか。	適・不適	
		○採水は毎回同じ場所で行い、ローテーションなどで行っていないか。	適・不適	
		○「水質基準に適合しているか判断できる場所」として、給水栓のほか配水管の末端等の水の停滞しやすい場所を含んで	適・不適	
		○水道施設の規模等を考慮し、必要な数の採水場所を選定しているか。	適・不適	
	(2)採水か所数は、水源の種別、浄水施設及び配水施設ごとに合理的な数となっているか。また、配水系統ごとに選定しているか。	○水道の規模、水源の種別、浄水施設及び排水施設構造等を考慮して、合理的に供給される水が水質基準に適合するかどうかを判断することが出来る場所を選定しているか。	適・不適	
		○ループ管であっても合理的な数を選定しているか。	適・不適	
		○水源系統が異なる場合には、系統毎に選定しているか。	適・不適	
③水質管理目標設定項目について水質検査を行っているか。	水質管理目標設定項目について、水源の種別や使用する機材、薬品の観点から着目して項目を設定し、水質検査を実施しているか。また、検査結果を公表しているか。	○水質基準に係る検査に準じた検査等の実施に努めているか。	適・不適	
④水質検査の委託先の選定方法は適切か。	水質検査を適切な機関に委託しているか。	○地方公共団体の機関又は厚生労働大臣の登録を受けた者か。	適・不適	
⑤水質検査結果は水質基準を満たしているか。	(1)水質検査結果は水質基準(水質基準に関する省令)を満たしているか。	○水質検査の結果がでた時点で、直ちに水質基準を満たしているかを確認しているか。また、小諸市に報告しているか。	適・不適	
	(2)水質基準を超えた値が検出された場合は、直ちに原因究明を行い必要な措置を講じているか。	○水質基準を超える値が検出された場合、直ちに原因究明を行う等必要な措置をとる必要が ○受託水道業務技術管理者へ報告される体制を整備しているか。	適・不適 適・不適	異常なし

	(3)異常が認められた場合に、確認のため直ちに再検査を行っているか。	異常が認められた場合に、確認のため直ちに再検査を行っているか。また、小諸市に報告しているか。	適・不適	異常なし
⑥原水の水質検査は適正に実施しているか。	(1)すべての水源の原水について、水質がもっとも悪化していると考えられる時期を含んで少なくとも毎年1回は定期的に全項目検査(消毒副生成物を除く。)を実施しているか。	○もっとも水質が悪化していると考えられる時期の原水水質の検査を行っているか。	適・不適	
	(2)必要に応じて水質管理目標設定項目等についても検査を実施しているか。	○水質管理目標設定項目について水質基準に係る検査に準じた検査等の実施しているか。	○適・不適	
⑦水質検査計画は策定されているか。	(1)毎事業年度の開始前に水質検査計画を策定しているか。	○毎事業年度の開始前に水質検査計画を策定しているか。	適・不適	
	(2)策定されている場合、その内容は適切か。	○策定されている場合、その内容は適切か。	適・不適	
	(3)水質管理目標設定項目及び原水に係る水質検査項目のうち、必要な項目が水質検査計画に位置付けられているか。	○水質検査対象とした又はしない根拠を項目毎に整理しているか。	適・不適	
⑧過去5年間の水質検査記録が保存されているか。	(1)水質検査の記録を適正に作成しているか。	○毎日検査の結果については異常がない場合にも、その旨を明記しているか。	○適・不適	
	(2)過去5年間の水質検査に関する記録は保存されているか。	○定期及び臨時の水質検査を行ったとき、これに関する記録を作成し、水質検査を行った日から起算して5年間、これを保存しているか。	適・不適	
⑨原水のクリプトスポリジウム等(クリプトスポリジウム及びジアルジア)による汚染のおそれの判断をしているか。	指標菌の検出レベル等からリスクレベルの判断を行っているか。	○指標菌である大腸菌及び嫌気性芽胞菌の検査を行わなければならない。いずれかが検出された場合、耐塩素性病原生物が混入するおそれがあると判断しているか。	適・不適	
		○深井戸であっても構造によっては原水から指標菌が検出されることがあるので注意をしているか。	適・不適	
⑩クリプトスポリジウム等による汚染のおそれの程度に応じた予防対策がされているか。	原水等の検査を適切に行っているか。	○クリプトスポリジウム等の汚染のおそれの程度に応じてクリプトスポリジウム等及び指標菌検査を行っているか。	適・不適	
		○レベル4及びレベル3の施設の設備期間中の施設では、原水のクリプトスポリジウム等を3ヶ月に1回以上、指標菌検査を月1回以上行っているか。	適・不適	

6) 第21条第1項 健康診断

第21条関連項目	確 認 事 項	具 体 的 な 対 応	判 定	不適の理由等 (メモ)
① 定期の健康診断の実施状況は適切か。	(1) 定期健康診断は、おおむね6箇月ごとに、病原体がし尿に排泄つされる感染症の患者(病原体の保菌者を含む。)の有無に関して実施されているか。	○定期健康診断は、おおむね6箇月ごとに実施しているか。 4月・10月	適・不適	
	(2) 健康診断の実施項目は適切か。	○病原体検索は、赤痢菌、腸チフス菌、パラチフス菌を対象としているか。	適・不適	
		○コレラ菌、赤痢アメーバ、サルモネラ等について行ったことがあるか。	適・不適	
		○急性灰髄炎(小児麻痺)、流行性肝炎、泉熱、感染性下痢症及び各種下痢腸炎について行ったことはあるか。	適・不適	
		○病原体検索は、主として便について行い、必要に応じて尿、血液、その他について行っているか。	適・不適	
		○サルモネラ属菌検査においては、一般に腸チフス菌、パラチフス菌検査が含まれている場合があるので、検査項目について確認しているか。	適・不適	
	(3) 健康診断の受診者は適切か。	○水道の取水場、浄水場又は配水池において業務に従事している者及びこれらの施設の設置場所の構内に居住している者全員を対象に健康診断を実施しているか。	適・不適	
		○健康診断実施日に休んでいた者については、後日実施しているか。	適・不適	該当者なし
② 臨時の健康診断は適切に実施されているか。	臨時の健康診断が必要となるような状態は生じていないか。生じていると認められている場合には、健康診断を行っているか。	○健康診断対象者が赤痢菌、腸チフス菌、パラチフス菌等の患者又は保菌者となった場合と施設の地域において赤痢等の伝染病(感染症)が発生する等により健康診断対象者に罹患するおそれがある場合に行っているか。	適・不適	
③ 過去1年間の健康診断記録が保存されているか。	過去1年間の健康診断に関する記録は保存されているか。	○診断年月日、診断を受けた者の氏名、性別、年齢、診断結果、診断医師名、検便成績、同検査場所が示されているか。	適・不適	
		○他の法令に基づいて行われた健康診断の実績項目が同一の場合はその内容をもって健康診断が実施されたものと見	適・不適	

7)第22条第1項 衛生上の措置

第22条関連項目	確 認 事 項	具 体 的 な 対 応	判 定	不適の理由等 (メモ)
①水道施設についての汚染防止はなされているのか。また、防護柵、施錠、立入禁止表示等の設置がなされているのか。	(1)取水場、貯水場、導水きよ、浄水場、配水池及びポンプせいは、常に清潔にし、水の汚染防止が充分になされているか。	○年間計画に基づきこれらの施設の清掃、点検巡視を行うとともに、結果について整理しているか。	○適・不適	
	(2)上記の施設には、カギを掛け、柵を設ける等みだりに人畜が施設に立ち入って水が汚染されるのを防止するのに必要な措置が講じられているか。	○施設にさく、門扉、施錠等を設け、人畜が施設に立ち入ることを防止しているか。	○適・不適	
		○汚染防止を喚起するため、必要な標札、立て札、掲示等を設置しているか。	○適・不適	
②給水栓における遊離残留塩素濃度は、基準値以下と管理されているか。	(1)給水栓における水が、遊離残留濃度0.1mg/L(結合残留塩素の場合は0.4mg/L)以上保持するよう適切に塩素消毒が行われているか。	○給水栓における残留塩素濃度の管理目標値を設定し、その確認手順を定めているか。	適・不適	
		○遊離残留塩素の値が高く、消毒副生成物が検出されていることはないか確認しているか。	○適・不適	
		○現状では管末で遊離残留塩素濃度0.1mg/Lを保持している場合でも、将来下回ることがないことを確認しているか。	適・不適	
		○地理的に残留塩素濃度の保持が難しいところについては、塩素の追加設備の設置や配管経路の変更等の対策を検討しているか。	適・不適	
	(2)供給する水が病原生物に著しく汚染されるおそれがある場合又は病原生物に汚染されたことを疑わせるような生物若しくは物質を多量に含むおそれがある場合には、給水栓における水の遊離残留塩素濃度0.2mg/L(結合残留塩素の場合は1.5mg/L)以上を保持するように適切に塩素消毒が行われているか。	○供給する水が病原生物に著しく汚染されるおそれがある場合又は病原生物に汚染されたことを疑わせるような生物若しくは物質を多量に含む恐れがあるような場合の塩素注入量を増加させる手続きを定めているか。	適・不適	
③消毒が連続的に適正な場所で行われているか。	(1)消毒が中断しないように確認を行っているか。また、消毒設備は消毒が中断しないように常に整備しているか。予備の設備はあるか。	○消毒が中断しないことを確認しているか。	○適・不適	
		○消毒設備の点検整備状況について整理しているか。	○適・不適	
	(2)消毒剤の注入は、量水せい又は配水池等において、消毒剤が十分水に混合するように行われているか。	○消毒剤が十分水に混合するために必要な措置を講じているか。	○適・不適	

8) 第23条第1項 給水の緊急停止

第23条関連項目	確認事項	具体的な対応	判定	不適の理由等 (メモ)
①危機管理マニュアル類の整備はされているか。	危機管理マニュアル(水質事故対策、テロ対策、震災対策、停電時対策等)は設備されているか。	○想定される事故・災害時に万全の対応が出来るように、マニュアルを整備しているか。	適・不適	
		○訓練を定期的に行うとともに更新に努めているか。	適・不適	
②連絡体制の整備状況は万全か。	水質事故、地震災害時等緊急時における当該事業者内関係水道事業者及び関係行政機関への連絡・対応体制は整えられているか。また、直ちに適切な対策が講じられるよう平時より関係者に周知しているか。	○緊急時における連絡・通報・対応などの体制を整備し、マニュアル化し、関係者に周知徹底しているか。	適・不適	
		○連絡先、対応窓口、記録の整理等についてマニュアル化して漏れのない体制を整えているか。	適・不適	
		○関係機関への連絡先が緊急時のマニュアルに明記しているか。	適・不適	
③給水停止等の指揮命令系統は明確であるか。	(1)給水の緊急停止措置の指揮命令系統は、明確になっているか。	○実施時に混乱を来たさないよう指揮命令系統を明確にしているか。	適・不適	
	(2)給水の緊急停止を行った場合、関係者に周知させる措置が講じられていた。(過去5年間以内で緊急停止の実績はあるか。またその理由は何か。	○受託水道業務技術管理者が指揮命令系統に位置付けられ適切に関与できる体制となっているか。 ○関係者に周知徹底しているか。 ○緊急停止を行った場合は、原因、経過、影響などについて整理し保存しているか。	適・不適 適・不適	
④応急復旧体制、応急給水体制は確立されているか	応急復旧体制、応急給水体制は確立されているか	○応急復旧に関する事項として、被害想定を行い、手順・方法に関する要領、組織、資機材の備蓄と確保及び建設業者との協力体制等を整備しているか。	適・不適	
		○応急給水に関する事項として、必要水量、給水拠点の想定を行い、手順・方法に関する要領、組織、資機材の確保、応援給水の受け入れ及び衛生管理体制等を整備しているか。	適・不適	
⑥危機管理を想定した訓練等に努めているか。	水道の緊急停止措置等緊急事態を想定した、指揮命令伝達などを含んだ訓練等を行っているか。	○水道の緊急停止等の措置を想定した指揮命令伝達などの訓練を行っているか。	適・不適	
⑦危機管理対策として住民への対策を適切に講じることができる体制が整備されているか。	非常時における住民への対策を適切に講じることができる体制が整備されているか。(給水ポイントの選定、広報活動のあり方など)	○訓練時に住民の参加を求め、要望などを取り入れているか。	適・不適	

⑧テロ等危機管理対策として水源監視及び水道施設の警備強化を行っているか。	施設内への来訪者、施設出入り業者の管理を行っているか。	○水道施設の警備を強化するため巡回点検計画を作成しているか。	適・不適	
		○ろ過池等が外部から容易に毒物が投入可能な配置・構造となっている場合、防止策等を検討しているか。	適・不適	
⑨施設内への来訪者の管理を行っているか。	施設内への来訪者、施設出入り業者の管理を行っているか。	○来訪名簿の整備、訪問目的、訪問先の確認、受付用テレビカメラの設置等を行っているか。	適・不適	
⑩停電時に配慮した水道施設の整備等がなされているか。	停電時に配慮した水道施設と施設運用体制の整備がなされているか。	○停電による影響と必要な対策を検討し、マニュアル化しているか。	適・不適	
⑪漏水事故等に備え、資機材の確保は万全か。	漏水事故等に備え、資機材の備蓄、調達はされているか。	○漏水事故等の対応マニュアルを整備しているか。	適・不適	
		○資機材を備蓄しているか。	適・不適	
⑫新型インフルエンザ対策に係る取り組みが進められているか。	水道管理業務受託者の状況に応じた適切な新型インフルエンザ対策が実施されているか。	○水道管理業務受託者の状況に応じた適切な新型インフルエンザ対策がされてるか。	適・不適	
		○流行時においても安全確保を前提として水道水を安定的に供給していくための対策がされているか。	適・不適	
⑬情報セキュリティ対策に係る取り組みが進められているか。	水道管理業務受託者の状況に応じた適切な情報セキュリティ対策が実施されているか。	○水道管理業務受託者の状況に応じた適切な情報セキュリティ対策が実施されているか。	適・不適	
		○サイバー攻撃や情報システム障害等により安全な水の安定供給に支障をきたさないための対策が実施されているか。	適・不適	

9)その他の事項

その他の事項	確認事項	具体的な対応	判定	不適の理由等(メモ)
①水道事業の運営に必要な技術レベルを維持するための研修、講習等を行っている。	(1)職員の技術向上と資格要件を満たす技術者を養育するための研修、講習等を実施、又は参加しているか。	○技術系職員の年齢構成について整理しているか。	適・不適	
		○年間の内部、外部を含めた研修計画を取りまとめているか。	適・不適	
	(2)水道事業の運営に必要な技術レベルを維持するための取り組みを行っているか。	○技術系職員を確保する計画をまとめているか。	適・不適	
		○技術の継承するための計画をまとめているか。	適・不適	
②水道事業ガイドラインに規定されている業務指標(PI)を活用した取り組みを行っているか。		○業務指標(PI)を算出しているか。	適・不適	
		○PIについて経年変化を求めているか。	適・不適	

小諸市水道施設等の指定管理者モニタリングチェックリスト

立会検査日 令和4年10月12日

令和 4 年9月分

検査者 小諸市水道技術管理者
立会者 榑水みらい小諸受託
水道業務技術管理者



0) 小諸市独自の確認事項

独自の項目	確認事項	具体的な対応	判定	不適の理由等 (メモ)
施設等の維持管理	修繕の発注件数	契約書の確認	適・不適	0件
	修繕の完了件数	しゅん工書類の確認	適・不適	0件
	工事の発注件数	契約書の確認	適・不適	0件
	工事の完了件数	しゅん工書類の確認	適・不適	0件
	保守点検の発注件数	契約書の確認	適・不適	0件
	保守点検の完了件数	しゅん工書類の確認	○適・不適	1件
	水源地・配水池等の巡視	巡視簿の確認	○適・不適	
管路の維持管理	目視による点検	水管橋・道路上の漏水等	○適・不適	
	修繕の発注件数	契約書の確認	○適・不適	1件
	修繕の完了件数	しゅん工書類の確認	○適・不適	15件
	路面復旧工事の発注件数	契約書の確認	適・不適	0件
	路面復旧工事の完了件数	しゅん工書類の確認	適・不適	0件
水質管理	水質検査(定期)	法定検査	○適・不適	9/13:7検体、9/20:9検体、 9/26:11検体、9/28:3検体
	毎日水質検査	残留塩素	○適・不適	
	水質検査(臨時)	法定検査	適・不適	
	クリプトスポリジウム検査		適・不適	
	放射能検査	年1回(10月)	適・不適	

料金関係				
	料金(現年分)調定	件数:金額、	適・不適	9,534件 75,260,630円
	料金(現年分)収入	件数:金額、	適・不適	10,588件 83,436,650円
	料金(現年分)未収金	件数:金額、	適・不適	10,245件 74,285,020円
	料金(過年分)調定	件数:金額、	適・不適	0件 -18,980円
	料金(過年分)収入	件数:金額、	適・不適	34件 131,570円
	料金(過年分)未収金	件数:金額、	適・不適	570件 3,631,120円
	手数料等調定	件数:金額、	適・不適	696件 1,607,750円
	手数料等収入	件数:金額、	適・不適	704件 1,471,000円
	加入金等調定	件数:金額、	適・不適	32件 3,671,800円
	加入金等収入	件数:金額、	適・不適	32件 2,800,600円
	開栓数	件数	適・不適	145件
	閉栓数	件数	適・不適	139件
	収納率(前年対比) %		適・不適	83.70% (-0.42)
	分納者の入金状況	3・6・9・12月末を確認する	適・不適	22件
	給水停止の対応状況	通知発送 9/7 給水停止執行日 9/27 , 9/28	適・不適	
	未収金の対応状況	移転未収者の催告実施 対象者38人、80件、回収率3.33%	適・不適	
給水申請				
	申請書の審査	審査書の確認	適・不適	41件
	申請書の竣工検査	しゅん工書類の確認	適・不適	32件
量水器の管理				
	検満工事の発注件数	契約書の確認	適・不適	0件
	検満工事の完了件数	しゅん工書類の確認	適・不適	2件
夜間・祝祭日の対応				
	漏水、火災、苦情等の対応	件数:(日誌の確認)	適・不適	6件
施設更新・維持補修の提案				
	更新計画の提案	更新の順位及び概算費用	適・不適	
	維持補修計画の提案	修繕の順位及び概算費用	適・不適	
業務の収支				
	業務収支の状況		適・不適	

○前回モニタリング時指摘事項への対応状況

前回モニタリング時指摘事項	改善等対応状況
・引き続き新型コロナウイルス感染防止対策の徹底をお願いします。	感染防止対策の徹底に努めます。
・業務計画に基づく適切な実行をお願いします。	適切な実行に努めます。
・指定給水装置工事事業者指定更新手続きの適時適切な対応をお願いします。	適時適切な対応に努めます。
・給水装置工事に関する事前相談案件について、申込時に事前相談内容とその結果を再確認し、設計審査に反映されるようお願いします。	事前相談記録に係る課題を整理します。
・苦情等があった場合は、再発防止につながるよう事案の双方共有をお願いします。	苦情等があった場合、再発防止につながるよう即時情報共有に努めます。
・配管状況等について、遠方の方からの問い合わせに対し、誠意対応できる方法の検討をお願いします。	水道埋設管調査受付書による情報提供が可能なため、周知方法を工夫します。

○モニタリング結果の総括

指摘・助言事項一覧	
・引き続き新型コロナウイルス感染防止対策の徹底をお願いします。	
・業務計画に基づく適切な実行をお願いします。	
・指定給水装置工事事業者指定更新手続きの適時適切な対応をお願いします。	

次回のモニタリング日： 10月 7日

小諸市水道施設等の指定管理者モニタリングチェックリスト

1) 第24条水道技術管理者関係

第24条関連項目	確認事項	具体的な対応	判定	不適の理由等 (メモ)
①受託水道業務技術管理者は、適切な役職の者が選任されているか。また資格を満たしているか。	(1)法第24条第3項に掲げる事項に対して適切に選任されているか。	○任命基準については客観的に判断する基準がないが、然るべき者(技術部門の長、若しくはそれに匹敵する者)が任命されているか。	適・不適	
		○水道技術管理者は水道の技術管理の中心責任者となるものであるから、当該水道の規模、知識、権限を有している者を選任しているか。	適・不適	
		○任命権者を明らかにする。	適・不適	
		○任命方法を示す。	適・不適	
	(2)受託水道業務技術管理者の資格要件を満たしているか。	○施行令第6条に定めた資格を有しているか。	適・不適	
②受託水道業務技術管理者は、水道の管理についての技術上の業務を適切に担当しているか。	(1)第19条第2項に掲げる事項に関する事務に従事し、及びこれらの従事する他の職員を監督しているか。	○監督の方法が適切であることを規定、手続きに関するマニュアルなどで示しているか。	適・不適	
		○報告書に決裁欄がある等、監督していることが証明できるか。	適・不適	
		○受託水道業務技術管理者が所属している部署の業務だけでなく、他の部署の業務についても法第19条第2項の事項のすべてについて監督しているか。	適・不適	
	(2)組織として業務を適正に実施することが可能な業務体制、情報管理体制となっているか。	○水道管理業務受託者の組織に位置付けられ、本人が認識していることはもとより、他の職員に周知されているか。	適・不適	
		○業務に関する情報が提供され、かつ、その情報に接したことを決裁欄等に証拠として残されているか。	適・不適	
		○受託水道業務技術管理者の業務を適正に実施可能な業務体制、情報管理体制が備えられているか。	適・不適	
		○補助者が従事監督している場合は規則・規程等で明確に位置付けられているか。	適・不適	

2) 第5条施設基準

第5条関連項目	確認事項	具体的な対応	判定	不適の理由等 (メモ)
---------	------	--------	----	----------------

①水道施設は施設基準を満たしているか。	(1)水に注入される薬品等により水に付加される物質は「水道施設の技術的基準を定める省令」(平成12年2月23日厚生省令第15号)を満たしているか。	○使用する薬品類は納入時の検査又は、成分表により品質を確認しているか。	適・不適	
		○次亜塩素酸ナトリウムの保管について有効濃度の低下に配慮しているか。	適・不適	
②定期的な水道施設の検査が実施されているか。	(1)定期的な水道施設の検査が行われているか。	○法定点検や自主点検の項目と必要頻度について合理的に定め実施しているか。	適・不適	
		○保守点検の点検項目、頻度等が定められているか。	適・不適	
		○保守点検の頻度は低くないか。	適・不適	
	(2)異常状態が発見された場合は、直ちに詳細な検査を行い、補修・改善等を含む適切な措置がなされているか。	○異常が認められた場合には、直ちに詳細な施設検査を実施しているか。 ○施設検査により施設の補修改造が必要なときは、速やかに委託先の小諸市担当者へ報告を行っているか。	適・不適	
③浄水施設、送配水施設などの運転手引書は整備されているか。	浄水施設、送配水施設などの運転手引書は整備されているのか。	○施設の劣化状況について調査、把握しているか。	適・不適	
		○浄水施設、送配水施設をはじめとする水道設備の運転手引書を整備しているのか。	適・不適	
		○手引書に基づき訓練を実施しているのか。	適・不適	
		○水道用薬品貯蔵設備の誤操作を防止するため作業マニュアルを作成するとともに訓練を行っているか。	適・不適	
④施設の管理状況の記録は、適切になされているか。	施設管理日誌、作業日誌等の記録はなされているか。	○施設管理日誌、管理記録、作業日誌、設備点検記録等を作成し施設の状況を把握しているか。	適・不適	
⑤施設図、配管図は適切に整備・保管しているか。	施設図、配管図等は常に更新し、いつでも速やかに利用可能な状態に整理し、保管されているか。	○施設図、配管図等は常に更新を依頼し、いつでも速やかに利用可能な状態に整理し、保管しているか。	適・不適	
⑥漏水防止対策は計画的に実施しているか。	漏水調査計画の立案はしているか。	○漏水調査を実施したか。	適・不適	

3) 第13条第1項 給水開始前の水質検査及び施設検査

第13条関連項目	確認事項	具体的な対応	判定	不適の理由等(メモ)
①給水開始検査は適正に実施されているか。	(1)給水開始前検査は、「水質基準に関する省令」及び「水質基準に関する省令の規定に基づき厚生労働	○水質検査は、全項目および消毒の残留効果について実施し、供給される水が法第4条の水質基準に適合していることを確認しているか。	○適 不適	

大臣が定める方法」並びに「水道施設の技術的基準を定める省令」に沿って適切に実施されている。	○検査方法は省令に定める方法で行っているか。	○適・不適	
	○当該新設、増設又は改造に係る施設を得た水道水の末端で採水しているか。	○適・不適	
	○施設検査は、浄水及び消毒の能力、流量、圧力、耐力、汚染並びに漏水のうち、施設の新設、増設又は改造による影響のある事項について、施設の新設、増設又は改造に係る施設及び該当影響に関係があると認められる水道施設(給水装置を含む。)について行っているか。	○適・不適	
	(2)給水開始前検査の水質試験については、給水管の末端等で行われているか。また必要に応じて、水源、配水池、浄水池等における水質についても検査を行っているか。	○適・不適	
	(3)検査結果は基準を満たすものであったか。満たしていない場合は適切な処置がなされているか。	○適・不適	
	(4)水質検査及び施設検査の記録を作成し、検査を行った日から5年間保存されているか。	○適・不適	
	(5)給水前検査の実施に関し検査内容(水圧試験、水質試験等を含む。)を明定する等検査に関する規則が整備されているか。	○適・不適	
	(6)配水施設(配水池を除く。)及び給水装置の新設、増設、改造の場合においても、給水開始前検査に準じて必要な検査を行っているか。	○適・不適	

4)第16条 給水装置の構造及び材質の検査

第16条関連項目	確 認 事 項	具 体 的 な 対 応	判 定	不適の理由等 (メモ)
①給水装置の構造及び材質が政令、省令に定める基準に適合していることを受託水道業務技術管理者の業務として確認する。	給水装置の確認の手順を文書化することが必要である。	○給水装置の確認の手順を文書化しているか。	○適・不適	

5)第20条第1項 水質検査

第20条関連項目	確 認 事 項	具 体 的 な 対 応	判 定	不適の理由等 (メモ)
①定期の水質検査は法定の回数行っているか。また、検査項目は適正か。	(1)毎日の水質検査は毎日実施されているか。また、検査項目は適切か。	○土日祝祭日にも行っているか。	適 不適	
		○消毒の残留効果に関する検査だけではなく、色及び濁りの検査を行っているか。	適 不適	
	(2)基準項目の水質検査の回数は法定の回数以上実施されているか。また、検査項目は適切か。	○検査項目別に規定されている回数(毎月1回以上、3月に1回以上)の検査を行っているか。(検査回数の減を除く)	適 不適	
		○基準項目の検査は、基準の表のすべて項目について検査を行っているか。(検査の省力を除く)	適 不適	
		○これらの試験結果は、速やかに受託水道業務技術管理者まで報告がなされているか。	適 不適	
		○結果に変動が生じた場合には、原因調査を行い必要な対応策を講じる体制を整備しているか。	適・不適	
	(3)検査回数を減らしている検査項目がある場合、減じることが出来る要件を満たしているか。またその検査頻度は適切か。	○水源地域の汚染源調査を実施し、原水水質の変化を予測しているか。	適・不適	
		○検査回数を減らしている検査項目がある場合は、その要件を毎年整理し、省略できることを確認しているか。	適・不適	
	(4)検査項目の省略を行っている場合、省略できる要件を満たしているか。また、省略を行った場合であっても、概ね3年に1回は省略項目についても水質試験を行っているか。	○検査項目の省略を行っている場合は、その要件を毎年整理し、省略できることを確認しているか。	適・不適	
		○水質検査、給水栓を原則とし、水道施設の構造等を考慮して、当該水道により供給される水が水質基準に適合するかどうかを判断することが出来る場所から採水した水について行っているか。	適 不適	

②配水池点は適正か。	(1)採水場所は、給水栓を原則とし、当該水道により供給される水が水質基準に適合するかどうかを判断することができる場所を選定しているか。また、特定の検査項目について、浄水施設の出口等を採水場所としている場合には、適切に選定されているか。	○浄水場出口だけではなく、配水管の末端等の水が停滞しやすい場所で行っているか。(ただし、濃度変化がないことが明らかな項目は可)	適・不適	
		○ループ管であっても水が停滞しやすい場所から採水しているか。	適・不適	
		○採水は毎回同じ場所で行い、ローテーションなどで行っていないか。	適・不適	
		○「水質基準に適合しているか判断できる場所」として、給水栓のほか配水管の末端等の水の停滞しやすい場所を含んでいるか。	適・不適	
		○水道施設の規模等を考慮し、必要な数の採水場所を選定しているか。	適・不適	
	(2)採水場所数は、水源の種別、浄水施設及び配水施設ごとに合理的な数となっているか。また、配水系統ごとに選定しているか。	○水道の規模、水源の種別、浄水施設及び排水施設構造等を考慮して、合理的に供給される水が水質基準に適合するかどうかを判断することが出来る場所を選定しているか。	適・不適	
		○ループ管であっても合理的な数を選定しているか。	適・不適	
		○水源系統が異なる場合には、系統毎に選定しているか。	適・不適	
③水質管理目標設定項目について水質検査を行っているか。	水質管理目標設定項目について、水源の種別や使用する機材、薬品の観点から着目して項目を設定し、水質検査を実施しているか。また、検査結果を公表しているか。	○水質基準に係る検査に準じた検査等の実施に努めているか。	適・不適	
④水質検査の委託先の選定方法は適切か。	水質検査を適切な機関に委託しているか。	○地方公共団体の機関又は厚生労働大臣の登録を受けた者か。	適・不適	
⑤水質検査結果は水質基準を満たしているか。	(1)水質検査結果は水質基準(水質基準に関する省令)を満たしているか。	○水質検査の結果がでた時点で、直ちに水質基準を満たしているかを確認しているか。また、小諸市に報告しているか。	適・不適	
	(2)水質基準を超えた値が検出された場合は、直ちに原因究明を行い必要な措置を講じているか。	○水質基準を超える値が検出された場合、直ちに原因究明を行う等必要な措置をとる必要がある。 ○受託水道業務技術管理者へ報告される体制を整備しているか。	適・不適 適・不適	異常なし

	(3)異常が認められた場合に、確認のため直ちに再検査を行っているか。	異常が認められた場合に、確認のため直ちに再検査を行っているか。また、小諸市に報告しているか。	適・不適	異常なし
⑥原水の水質検査は適正に実施しているか。	(1)すべての水源の原水について、水質がもっとも悪化していると考えられる時期を含んで少なくとも毎年1回は定期的に全項目検査(消毒副生成物を除く。)を実施しているか。	○もっとも水質が悪化していると考えられる時期の原水水質の検査を行っているか。	適・不適	
	(2)必要に応じて水質管理目標設定項目等についても検査を実施しているか。	○水質管理目標設定項目について水質基準に係る検査に準じた検査等の実施しているか。	○適・不適	
⑦水質検査計画は策定されているか。	(1)毎事業年度の開始前に水質検査計画を策定しているか。	○毎事業年度の開始前に水質検査計画を策定しているか。	適・不適	
	(2)策定されている場合、その内容は適切か。	○策定されている場合、その内容は適切か。	適・不適	
	(3)水質管理目標設定項目及び原水に係る水質検査項目のうち、必要な項目が水質検査計画に位置付けられているか。	○水質検査対象とした又はしない根拠を項目毎に整理しているか。	適・不適	
⑧過去5年間の水質検査記録が保存されているか。	(1)水質検査の記録を適正に作成しているか。	○毎日検査の結果については異常がない場合にも、その旨を明記しているか。	○適・不適	
	(2)過去5年間の水質検査に関する記録は保存されているか。	○定期及び臨時の水質検査を行ったとき、これに関する記録を作成し、水質検査を行った日から起算して5年間、これを保存しているか。	適・不適	
⑨原水のクリプトスポジウム等(クリプトスポジウム及びジアルジア)による汚染のおそれの判断をしているか。	指標菌の検出レベル等からリスクレベルの判断を行っているか。	○指標菌である大腸菌及び嫌気性芽胞菌の検査を行わなければならない。いずれかが検出された場合、耐塩素性病原生物が混入するおそれがあると判断しているか。	適・不適	
		○深井戸であっても構造によっては原水から指標菌が検出されることがあるので注意をしているか。	適・不適	
⑩クリプトスポリジウム等による汚染のおそれの程度に応じた予防対策がされているか。	原水等の検査を適切に行っているか。	○クリプトスポリジウム等の汚染のおそれの程度に応じてクリプトスポリジウム等及び指標菌検査を行っているか。	適・不適	
		○レベル4及びレベル3の施設の設備期間中の施設では、原水のクリプトスポリジウム等を3ヶ月に1回以上、指標菌検査を月1回以上行っているか。	適・不適	

6) 第21条第1項 健康診断

第21条関連項目	確 認 事 項	具 体 的 な 対 応	判 定	不適の理由等 (メモ)
① 定期の健康診断の実施状況は適切か。	(1) 定期健康診断は、おおむね6箇月ごとに、病原体がし尿に排泄せつされる感染症の患者(病原体の保菌者を含む。)の有無に関して実施されているか。	○定期健康診断は、おおむね6箇月ごとに実施しているか。 4月・10月	適・不適	
	(2) 健康診断の実施項目は適切か。	○病原体検索は、赤痢菌、腸チフス菌、パラチフス菌を対象としているか。	適・不適	
		○コレラ菌、赤痢アメーバ、サルモネラ等について行ったことがあるか。	適・不適	
		○急性灰髄炎(小児麻痺)、流行性肝炎、泉熱、感染性下痢症及び各種下痢腸炎について行ったことはあるか。	適・不適	
		○病原体検索は、主として便について行い、必要に応じて尿、血液、その他について行っているか。	適・不適	
		○サルモネラ属菌検査においては、一般に腸チフス菌、パラチフス菌検査が含まれている場合があるので、検査項目について確認しているか。	適・不適	
	(3) 健康診断の受診者は適切か。	○水道の取水場、浄水場又は配水池において業務に従事している者及びこれらの施設の設置場所の構内に居住している者全員を対象に健康診断を実施しているか。	適・不適	
		○健康診断実施日に休んでいた者については、後日実施しているか。	適・不適	該当者なし
② 臨時の健康診断は適切に実施されているか。	臨時の健康診断が必要となるような状態は生じていないか。生じていると認められている場合には、健康診断を行っているか。	○健康診断対象者が赤痢菌、腸チフス菌、パラチフス菌等の患者又は保菌者となった場合と施設の地域において赤痢等の伝染病(感染症)が発生する等により健康診断対象者に罹患するおそれがある場合に行っているか。	適・不適	
③ 過去1年間の健康診断記録が保存されているか。	過去1年間の健康診断に関する記録は保存されているか。	○診断年月日、診断を受けた者の氏名、性別、年齢、診断結果、診断医師名、検便成績、同検査場所が示されているか。	適・不適	
		○他の法令に基づいて行われた健康診断の実績項目が同一の場合はその内容をもって健康診断が実施されたものと見なせる。	適・不適	

7)第22条第1項 衛生上の措置

第22条関連項目	確 認 事 項	具 体 的 な 対 応	判 定	不適の理由等 (メモ)
①水道施設についての汚染防止はなされているのか。また、防護柵、施錠、立入禁止表示等の設置がなされているのか。	(1)取水場、貯水場、導水きよ、浄水場、配水池及びポンプせいは、常に清潔にし、水の汚染防止が充分になされているか。	○年間計画に基づきこれらの施設の清掃、点検巡視を行うとともに、結果について整理しているか。	適・不適	
	(2)上記の施設には、カギを掛け、柵を設ける等みだりに人畜が施設に立ち入って水が汚染されるのを防止するのに必要な措置が講じられているか。	○施設にさく、門扉、施錠等を設け、人畜が施設に立ち入ることを防止しているか。	適・不適	
		○汚染防止を喚起するため、必要な標札、立て札、掲示等を設置しているか。	適・不適	
②給水栓における遊離残留塩素濃度は、基準値以下とされないよう管理されているか。	(1)給水栓における水が、遊離残留濃度0.1mg/L(結合残留塩素の場合は0.4mg/L)以上保持するよう適切に塩素消毒が行われているか。	○給水栓における残留塩素濃度の管理目標値を設定し、その確認手順を定めているか。	適・不適	
		○遊離残留塩素の値が高く、消毒副生成物が検出されていることはないか確認しているか。	適・不適	
		○現状では管末で遊離残留塩素濃度0.1mg/Lを保持している場合でも、将来下回ることがないことを確認しているか。	適・不適	
		○地理的に残留塩素濃度の保持が難しいところについては、塩素の追加設備の設置や配管経路の変更等の対策を検討しているか。	適・不適	
	(2)供給する水が病原生物に著しく汚染されるおそれがある場合又は病原生物に汚染されたことを疑わせるような生物若しくは物質を多量に含むおそれがある場合には、給水栓における水の遊離残留塩素濃度0.2mg/L(結合残留塩素の場合は1.5mg/L)以上を保持するよう適切に塩素消毒が行われているか。	○供給する水が病原生物に著しく汚染されるおそれがある場合又は病原生物に汚染されたことを疑わせるような生物若しくは物質を多量に含む恐れがあるような場合の塩素注入量を増加させる手続きを定めているか。	適・不適	
③消毒が連続的に適正な場所で行われているか。	(1)消毒が中断しないように確認を行っているか。また、消毒設備は消毒が中断しないように常に整備しているか。予備の設備はあるか。	○消毒が中断しないことを確認しているか。	適・不適	
		○消毒設備の点検整備状況について整理しているか。	適・不適	
	(2)消毒剤の注入は、量水せい又は配水池等において、消毒剤が十分水に混合するように行われているか。	○消毒剤が十分水に混合するために必要な措置を講じているか。	適・不適	

8) 第23条第1項 給水の緊急停止

第23条関連項目	確認事項	具体的な対応	判定	不適の理由等 (メモ)
①危機管理マニュアル類の整備はされているか。	危機管理マニュアル(水質事故対策、テロ対策、震災対策、停電時対策等)は設備されているか。	○想定される事故・災害時に万全の対応が出来るように、マニュアルを整備しているか。	適・不適	
		○訓練を定期的に行うとともに更新に努めているか。	適・不適	
②連絡体制の整備状況は万全か。	水質事故、地震災害時等緊急時における当該事業者内関係水道事業者及び関係行政機関への連絡・対応体制は整えられているか。また、直ちに適切な対策が講じられるよう平時より関係者に周知しているか。	○緊急時における連絡・通報・対応などの体制を整備し、マニュアル化し、関係者に周知徹底しているか。	適・不適	
		○連絡先、対応窓口、記録の整理等についてマニュアル化して漏れのない体制を整えているか。	適・不適	
		○関係機関への連絡先が緊急時のマニュアルに明記しているか。	適・不適	
③給水停止等の指揮命令系統は明確であるか。	(1)給水の緊急停止措置の指揮命令系統は、明確になっているか。	○実施時に混乱を来たさないよう指揮命令系統を明確にしているか。	適・不適	
		○受託水道業務技術管理者が指揮命令系統に位置付けられ適切に関与できる体制となっているか。	適・不適	
	(2)給水の緊急停止を行った場合、関係者に周知させる措置が講じられていた。(過去5年間以内で緊急停止の実績はあるか。またその理由は何か。	○関係者に周知徹底しているか。 ○緊急停止を行った場合は、原因、経過、影響などについて整理し保存しているか。	適・不適	
④応急復旧体制、応急給水体制は確立されているか	応急復旧体制、応急給水体制は確立されているか	○応急復旧に関する事項として、被害想定を行い、手順・方法に関する要領、組織、資機材の備蓄と確保及び建設業者との協力体制等を整備しているか。	適・不適	
		○応急給水に関する事項として、必要水量、給水拠点の想定を行い、手順・方法に関する要領、組織、資機材の確保、応援給水の受け入れ及び衛生管理体制等を整備しているか。	適・不適	
⑥危機管理を想定した訓練等に努めているか。	水道の緊急停止措置等緊急事態を想定した、指揮命令伝達などを含んだ訓練等を行っているか。	○水道の緊急停止等の措置を想定した指揮命令伝達などの訓練を行っているか。	適・不適	
⑦危機管理対策として住民への対策を適切に講じることができる体制が整備されているか。	非常時における住民への対策を適切に講じることができる体制が整備されているか。(給水ポイントの選定、広報活動のあり方など)	○訓練時に住民の参加を求め、要望などを取り入れているか。	適・不適	

⑧テロ等危機管理対策として水源監視及び水道施設の警備強化を行っているか。	施設内への来訪者、施設出入り業者の管理を行っているか。	○水道施設の警備を強化するため巡回点検計画を作成しているか。	適・不適	
		○ろ過池等が外部から容易に毒物が投入可能な配置・構造となっている場合、防止策等を検討しているか。	適・不適	
⑨施設内への来訪者の管理を行っているか。	施設内への来訪者、施設出入り業者の管理を行っているか。	○来訪名簿の整備、訪問目的、訪問先の確認、受付用テレビカメラの設置等を行っているか。	適・不適	
⑩停電時に配慮した水道施設の整備等がなされているか。	停電時に配慮した水道施設と施設運用体制の整備がなされているか。	○停電による影響と必要な対策を検討し、マニュアル化しているか。	適・不適	
⑪漏水事故等に備え、資機材の確保は万全か。	漏水事故等に備え、資機材の備蓄、調達はされているか。	○漏水事故等の対応マニュアルを整備しているか。	適・不適	
		○資機材を備蓄しているか。	適・不適	
⑫新型インフルエンザ対策に係る取り組みが進められているか。	水道管理業務受託者の状況に応じた適切な新型インフルエンザ対策が実施されているか。	○水道管理業務受託者の状況に応じた適切な新型インフルエンザ対策がされているか。	適・不適	
		○流行時においても安全確保を前提として水道水を安定的に供給していくための対策がされているか。	適・不適	
⑬情報セキュリティ対策に係る取り組みが進められているか。	水道管理業務受託者の状況に応じた適切な情報セキュリティ対策が実施されているか。	○水道管理業務受託者の状況に応じた適切な情報セキュリティ対策が実施されているか。	適・不適	
		○サイバー攻撃や情報システム障害等により安全な水の安定供給に支障をきたさないための対策が実施されているか。	適・不適	

9) その他の事項

その他の事項	確認事項	具体的な対応	判定	不適の理由等(メモ)
①水道事業の運営に必要な技術レベルを維持するための研修、講習等を行っている。	(1)職員の技術向上と資格要件を満たす技術者を養成するための研修、講習等を実施、又は参加しているか。	○技術系職員の年齢構成について整理しているか。	適・不適	
		○年間の内部、外部を含めた研修計画を取りまとめているか。	適・不適	
	(2)水道事業の運営に必要な技術レベルを維持するための取り組みを行っているか。	○技術系職員を確保する計画をまとめているか。	適・不適	
		○技術の継承するための計画をまとめているか。	適・不適	
②水道事業ガイドラインに規定されている業務指標(PI)を活用した取り組みを行っているか。		○業務指標(PI)を算出しているか。	適・不適	
		○PIについて経年変化を求めているか。	適・不適	